

島田市の公共施設に関する  
市民アンケート調査

報 告 書  
(概 要 版)

平成28年3月

島 田 市

# 目 次

I	調査概要	1
1	調査の目的	1
2	調査項目	1
3	調査方法	1
4	回収状況	1
5	この報告書の見方	1
II	調査結果	2
	回答者の属性	2
	公共施設の利用状況について	6
	公共施設の現状及び課題に対する関心について	19
	公共施設マネジメントの取組に対する考え方について	21
	公共施設の今後のあり方について	22
	まとめ	26

# I 調査概要

## 1 調査の目的

島田市が進める「公共施設マネジメント」の取組の一環として、公共施設（本調査では公共建築物に限定）に対する市民の意識の構造を把握することを通して、今後の取組の方向性を検討するに当たっての参考とするため、市民を対象にアンケート調査を実施した。

## 2 調査項目

- 1 回答者の属性
- 2 公共施設の利用状況について
- 3 公共施設の現状及び課題に対する関心について
- 4 公共施設マネジメントの取組に対する考え方について
- 5 公共施設の今後のあり方について

## 3 調査方法

- 調査対象：島田市在住の満 14 歳以上（中学2年生以上）の男女3,000人（無作為抽出）
- 調査方法：郵送配付・郵送回収
- 調査期間：平成27年11月9日～平成27年11月30日

## 4 回収状況

発送数	回収数	有効回収数	有効回収率
3,000	1,388	1,388	46.2%

\*有効回収数：回収数から全く回答がないもの（白票）を除いた数

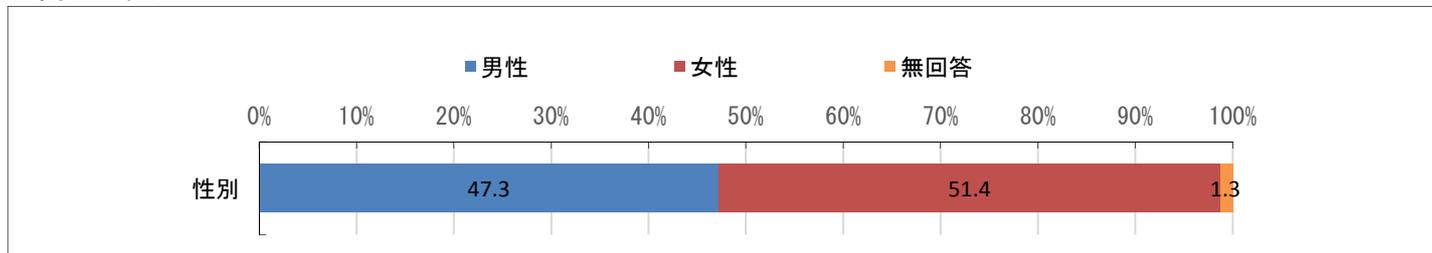
## 5 この報告書の見方

- 集計結果の%表示は、小数点以下第2位を四捨五入してあるので、内訳の合計がちょうど100.0%にならない場合がある。
- 複数回答が可能な設問の場合は、全ての構成比の合計がちょうど100.0%にならない場合がある。
- クロス集計においては、分析軸において無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答者数の合計と単純集計（全体）の有効回答者数が合致しない場合がある。

## Ⅱ 調査結果

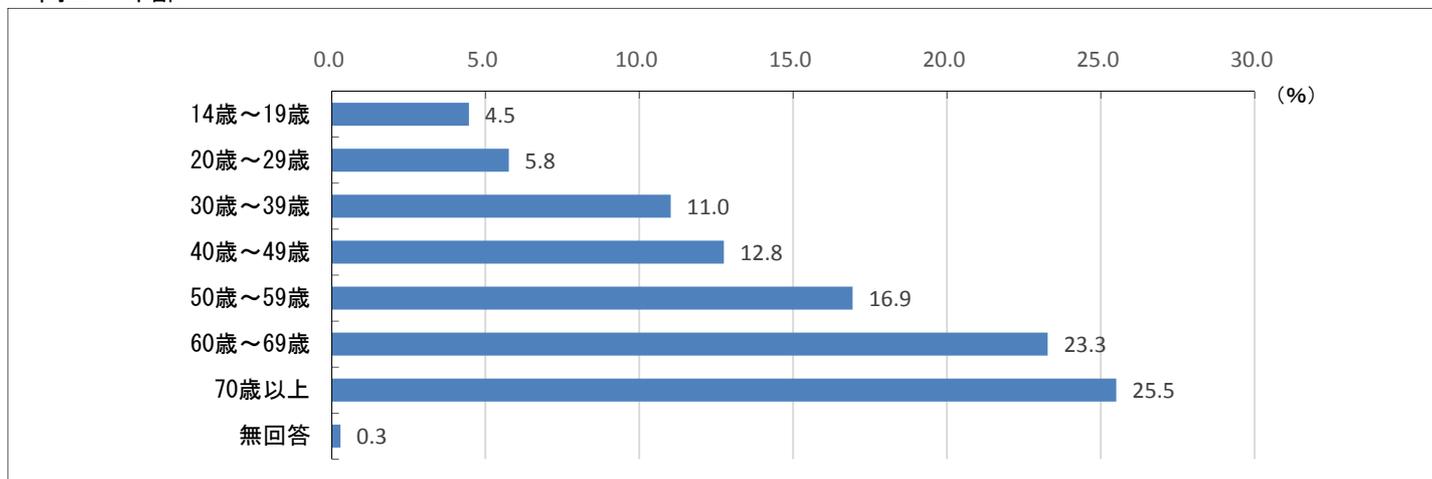
### 回答者の属性

#### 問1 性別



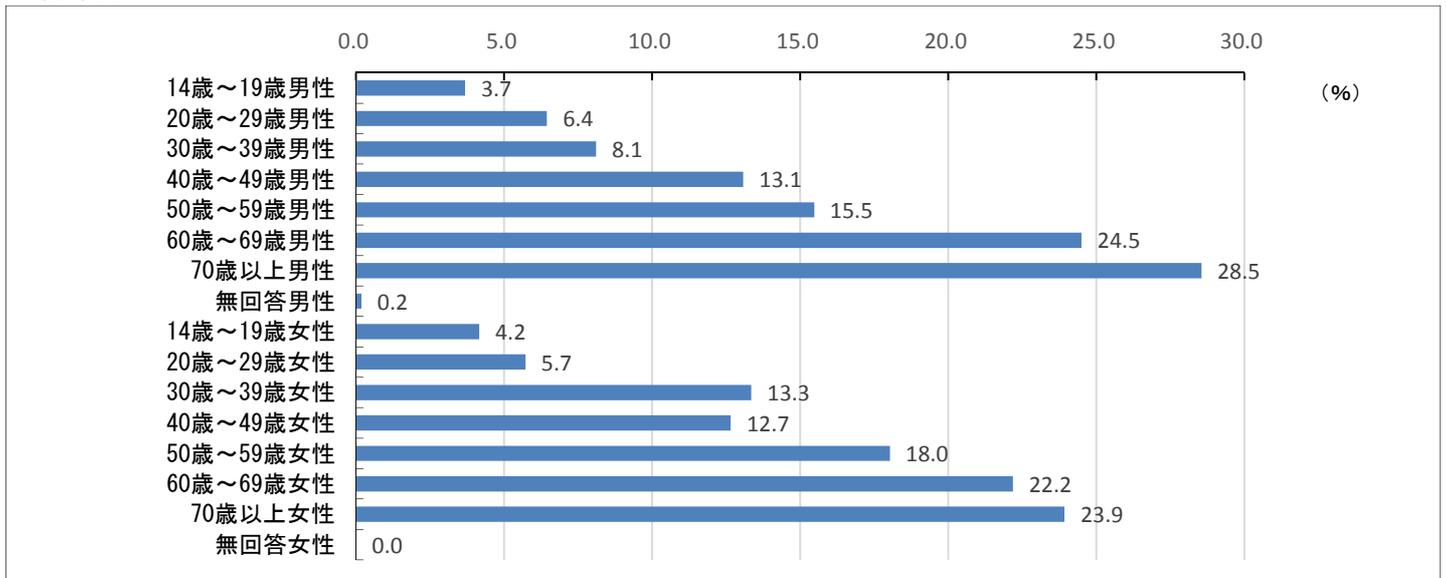
性別は、「男性」47.3%、「女性」51.4%となっている。

#### 問2 年齢



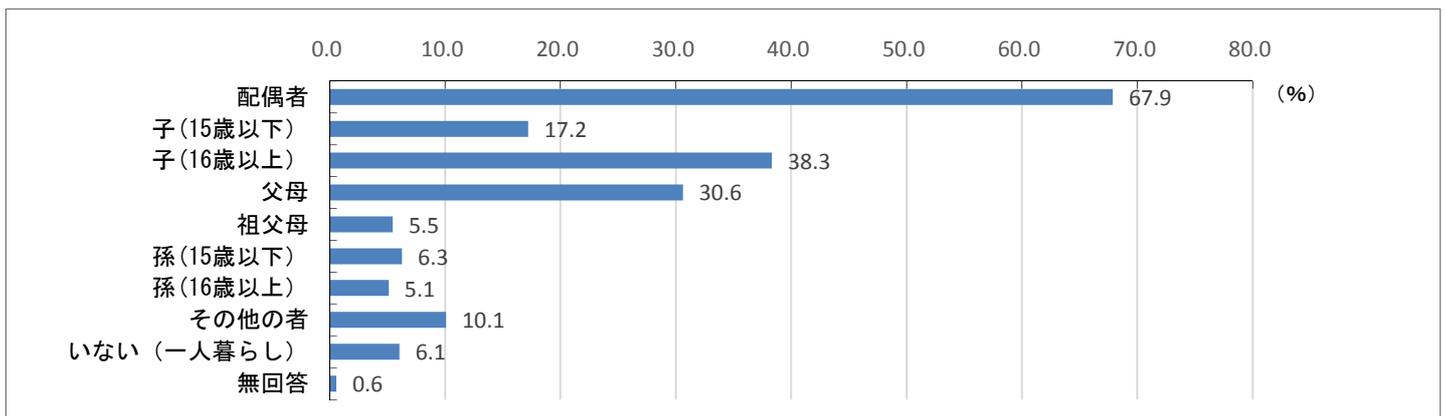
年齢は、「70歳以上」が25.5%と最も高く、「60～69歳」23.3%、「50歳～59歳」16.9%などと続いている。

## 性年代



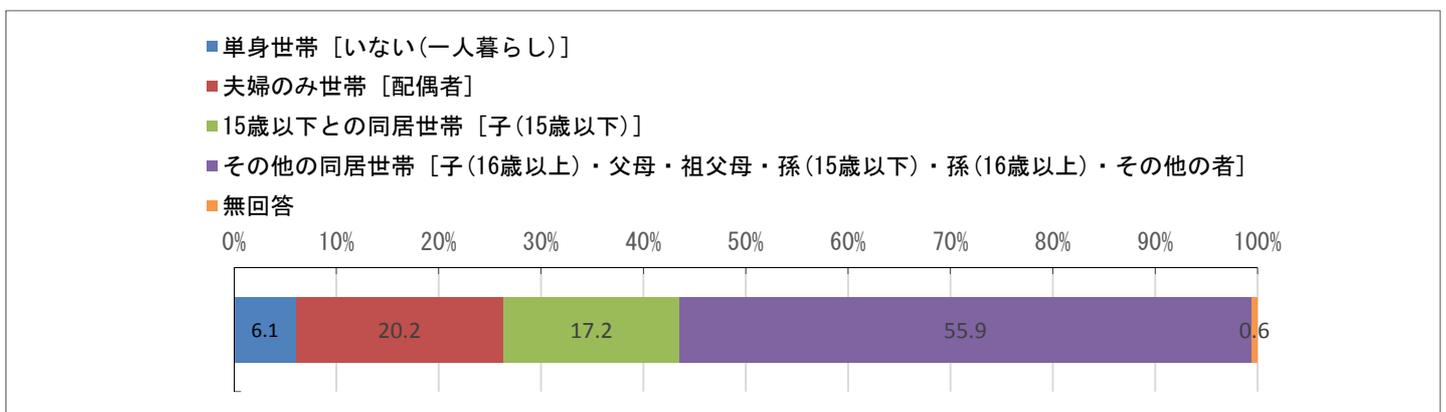
性年代は、「70歳以上男性」が28.5%と最も高く、「60～69歳以上男性」24.5%、「70歳以上女性」23.9%などと続いている。

## 問3 同居している人



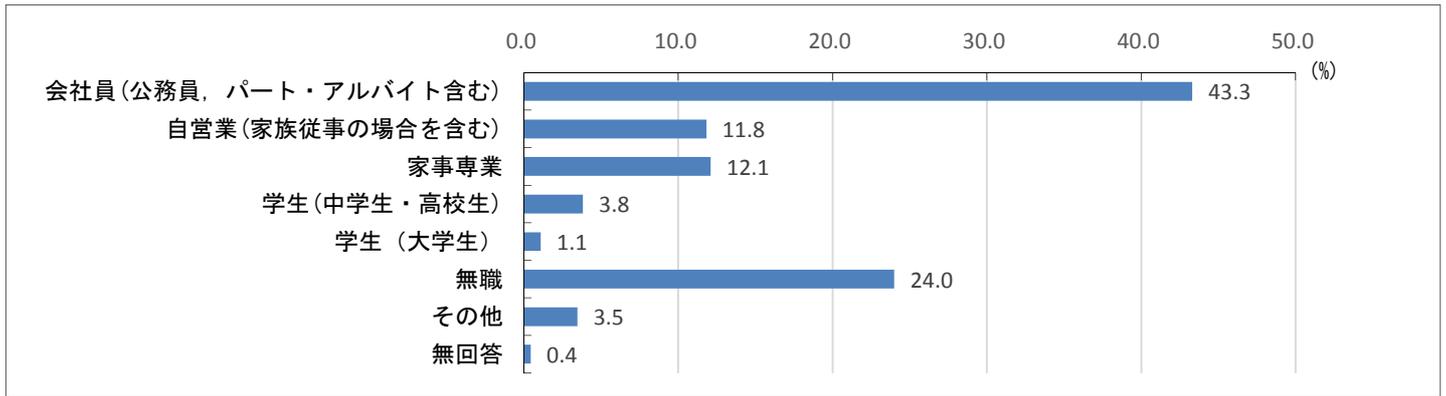
同居している人は、「配偶者」が67.9%と最も高く、「子(16歳以上)」38.3%、「父母」30.6%などと続いている。

## 家族構成



家族構成は、「その他の同居世帯」が55.9%と最も高く、「夫婦のみ世帯」20.2%、「15歳以下との同居世帯」17.2%などと続いている。

## 問4 職業



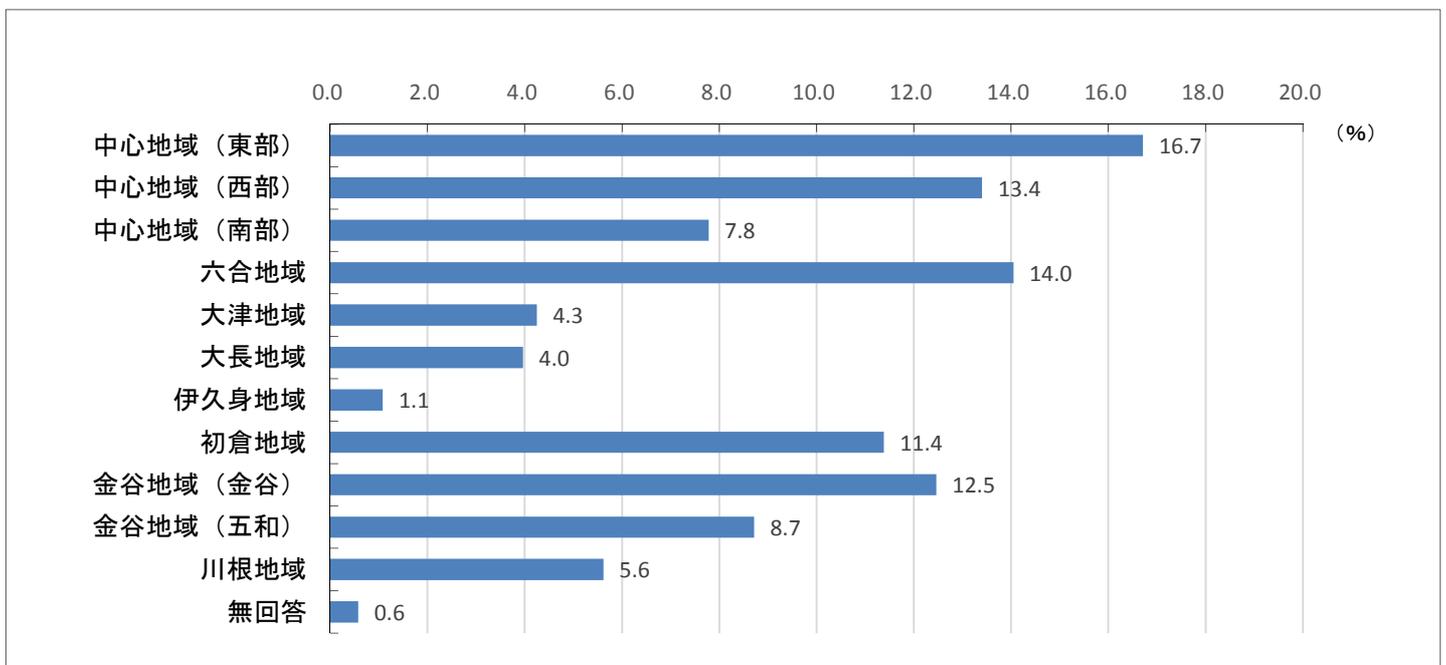
職業は、「会社員（公務員、パート・アルバイト含む）」が43.3%と最も高く、「無職」24.0%、「家事専業」12.1%などと続いている。

## 問4-1 通勤・通学先



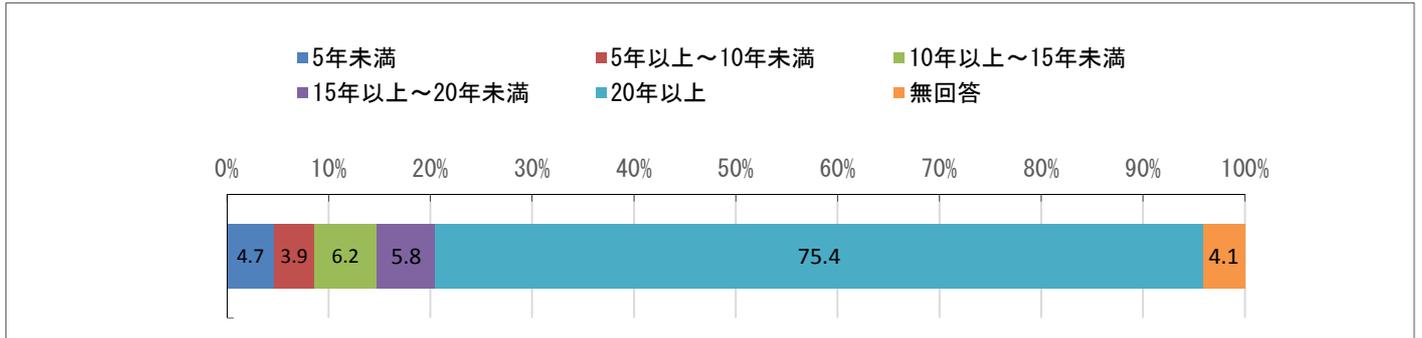
職業で「会社員（公務員、パート・アルバイト含む）」「学生（中学生・高校生）」「学生（大学生）」「その他」と答えた人の通勤・通学先は、「島田市内」53.5%、「島田市外」43.7%となっている。

## 問5 居住地域



居住地域は、「中心地域（東部）」が16.7%と最も高く、「六合地域」14.0%、「中心地域（西部）」13.4%などと続いている。

## 問6 島田市での居住年数



島田市での居住年数は、「20年以上」が75.4%と最も高く、「10年以上～15年未満」6.2%、「15年以上～20年未満」5.8%などと続いている。

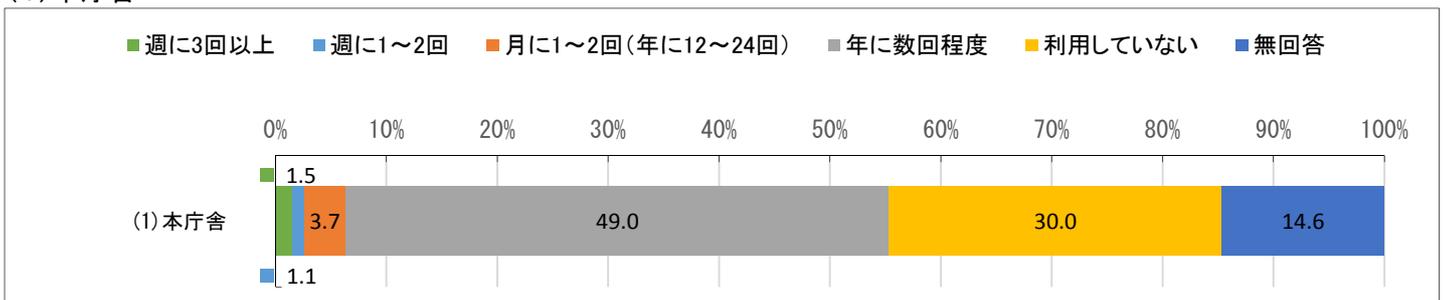
## 公共施設の利用状況について

問7 次の各施設について、最近1年間におけるおおよその利用の回数についてお答えください。(〇は1つずつ)  
また、利用していない場合は、その理由をお答えください。(〇はいくつでも)

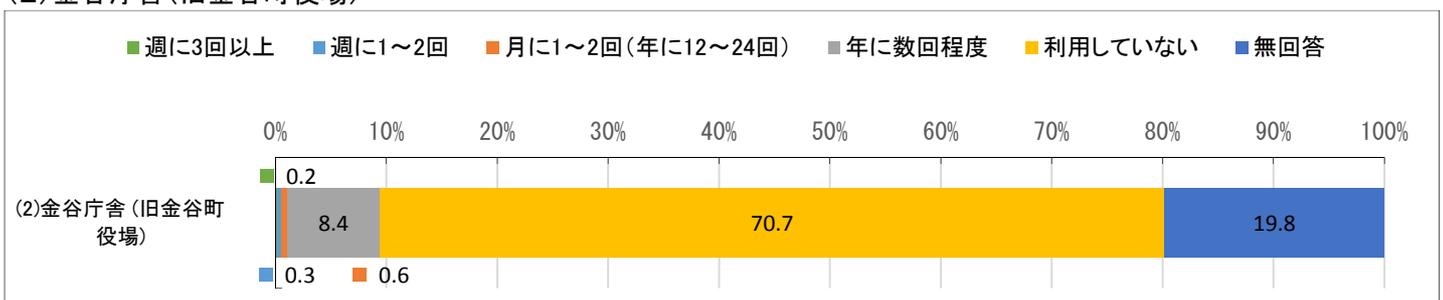
### I 庁舎施設

庁舎施設の利用回数は、本庁舎の「年に数回程度」が49.0%と目立って高くなっている。「利用していない」は、本庁舎以外の全ての施設で7割を超えている。

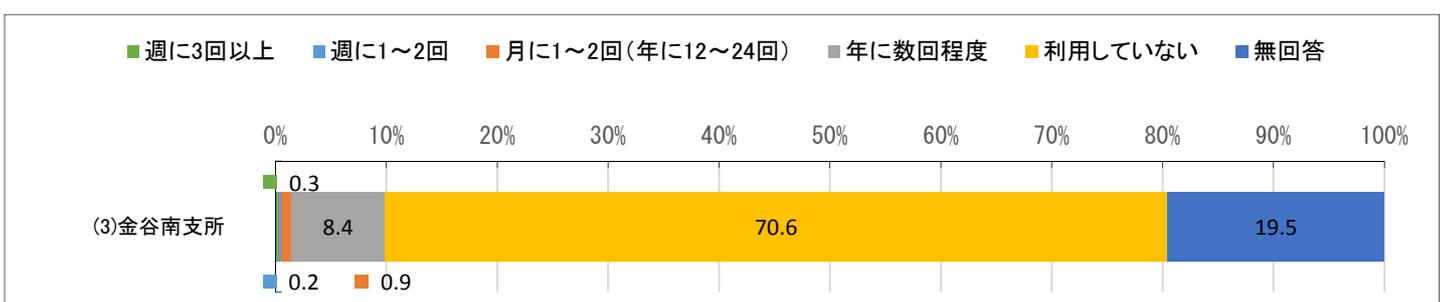
#### (1) 本庁舎



#### (2) 金谷庁舎 (旧金谷町役場)



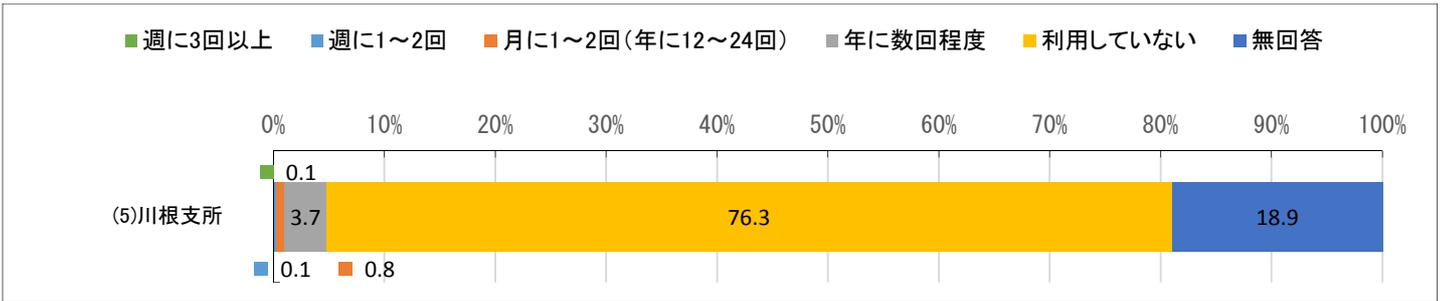
#### (3) 金谷南支所



#### (4) 金谷北支所



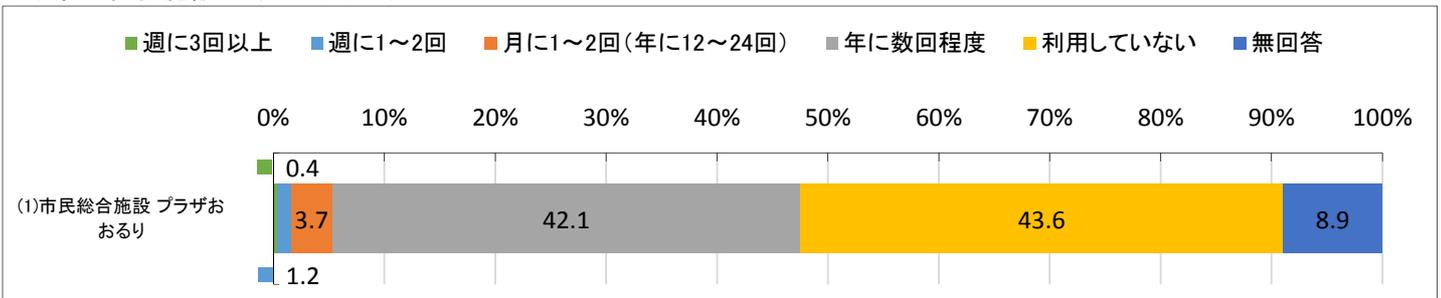
(5)川根支所



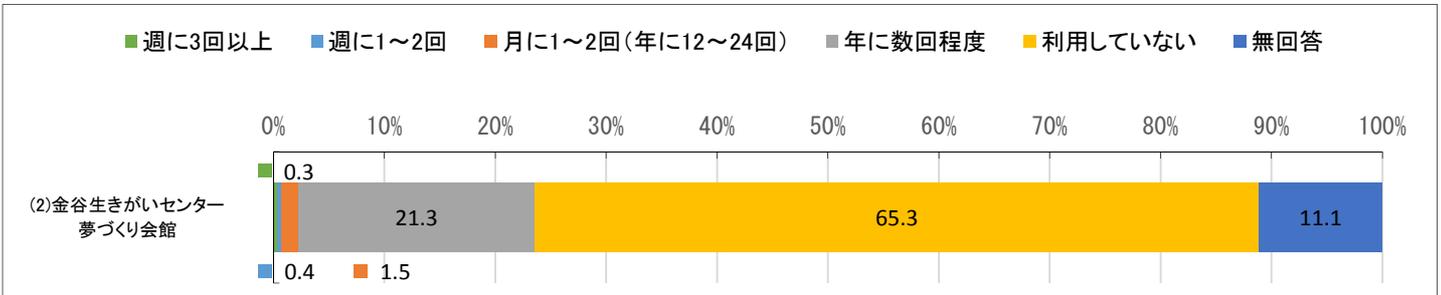
II 文化施設

文化施設の利用回数は、市民総合施設プラザおおりの「年に数回程度」が42.1%と目立って高く、金谷生きがいセンター夢づくり会館でも2割を占めている。

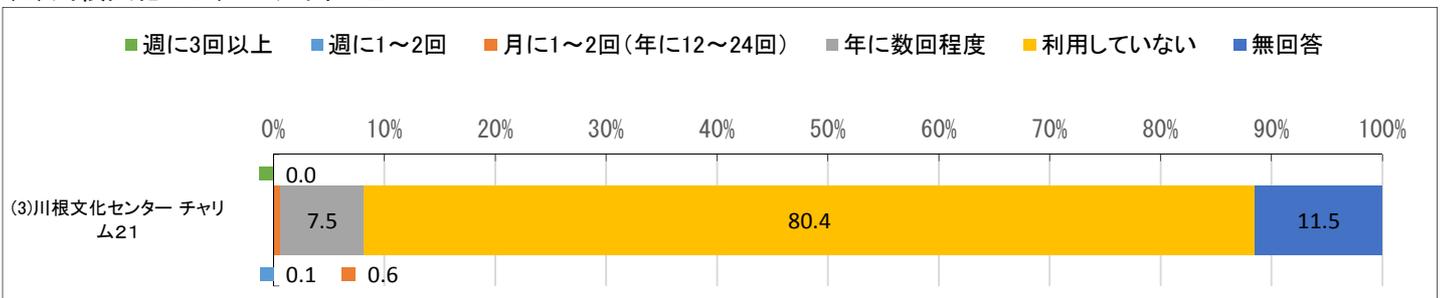
(1)市民総合施設 プラザおおり



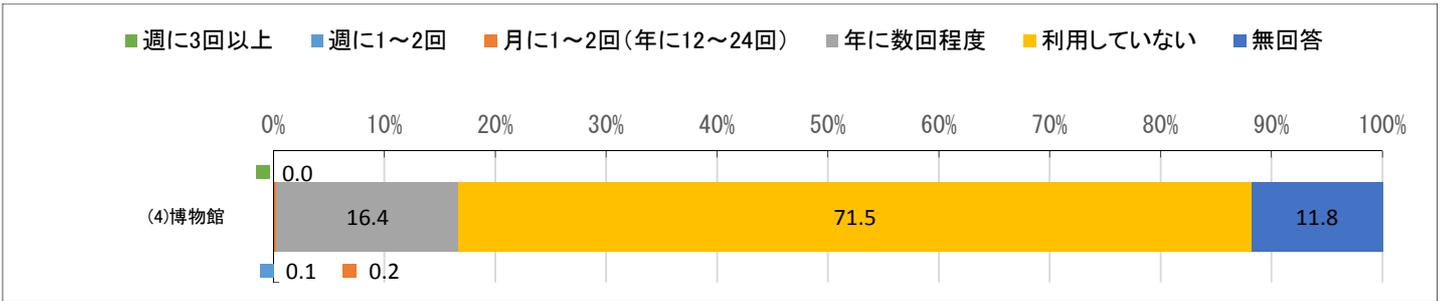
(2)金谷生きがいセンター 夢づくり会館



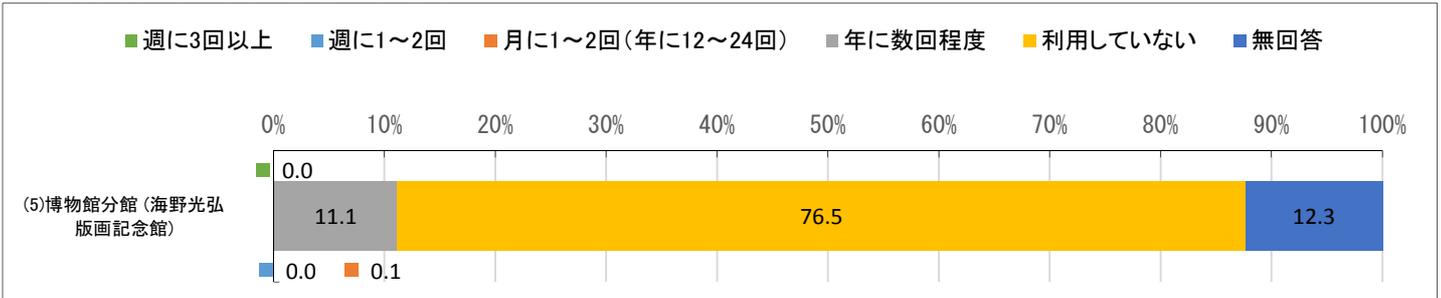
(3)川根文化センター チャリム21



(4) 博物館



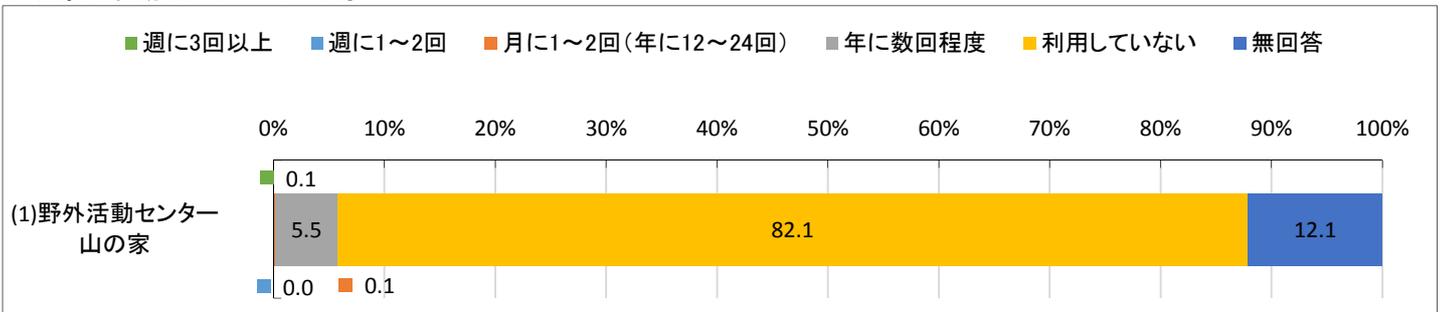
(5) 博物館分館(海野光弘版画記念館)



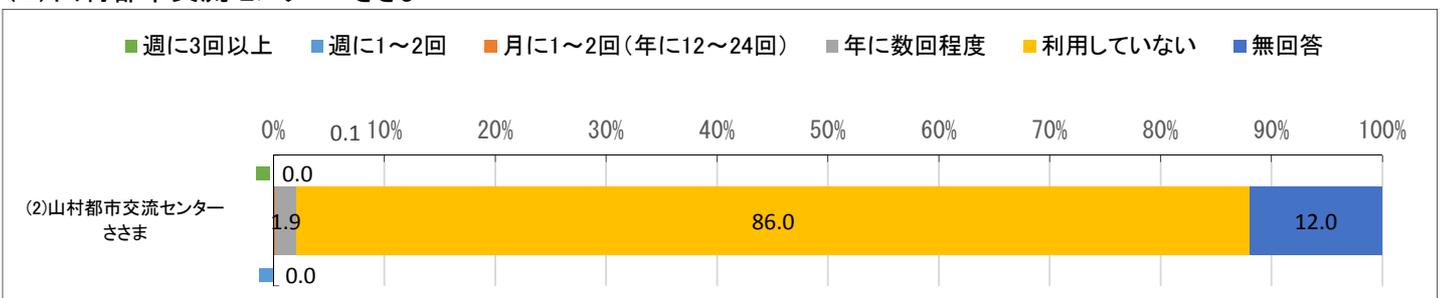
III 社会教育施設

社会教育施設の利用回数は、島田図書館の「年に数回程度」が19.7%とやや高くなっている。「利用していない」は、島田図書館以外の全ての施設で7割以上を占めている。

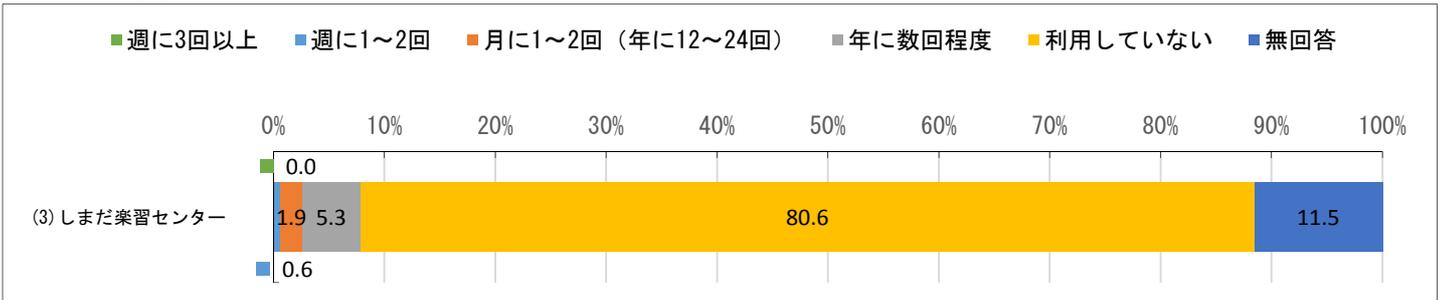
(1) 野外活動センター 山の家



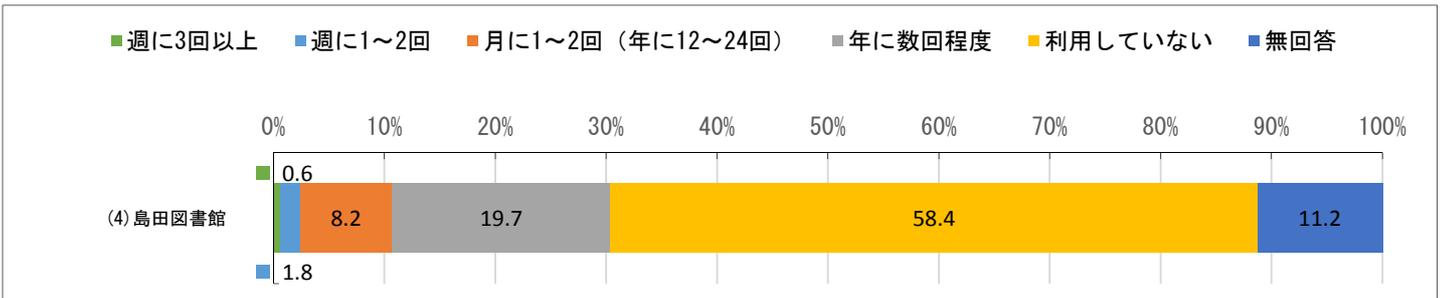
(2) 山村都市交流センター ささま



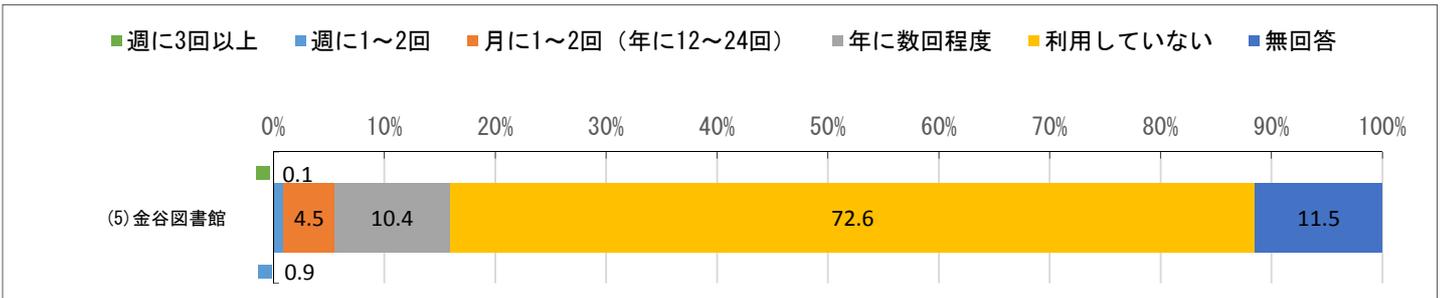
(3)しまだ楽習センター



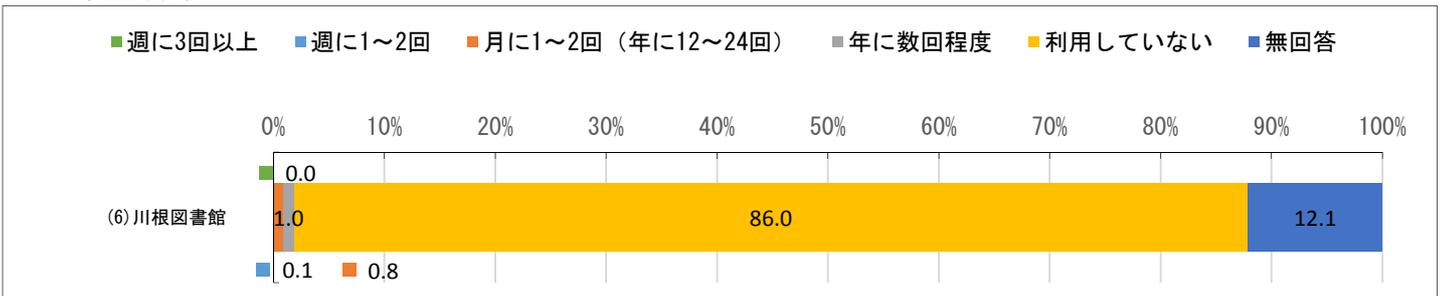
(4)島田図書館



(5)金谷図書館

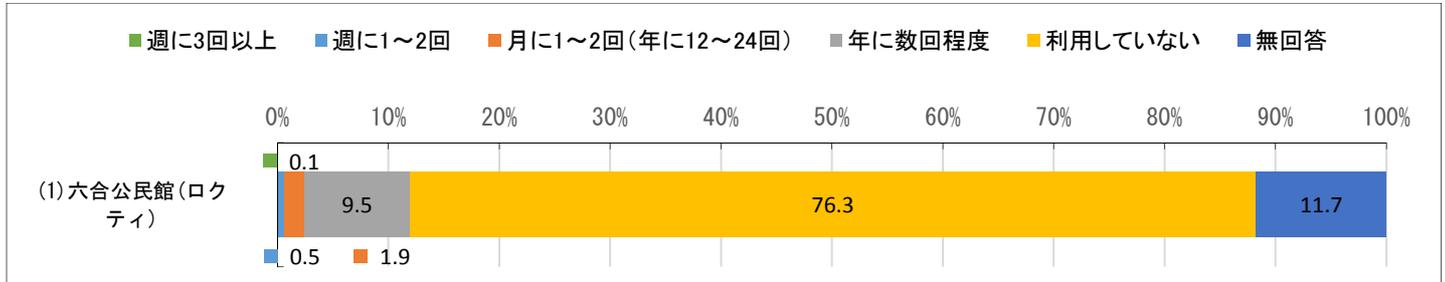


(6)川根図書館

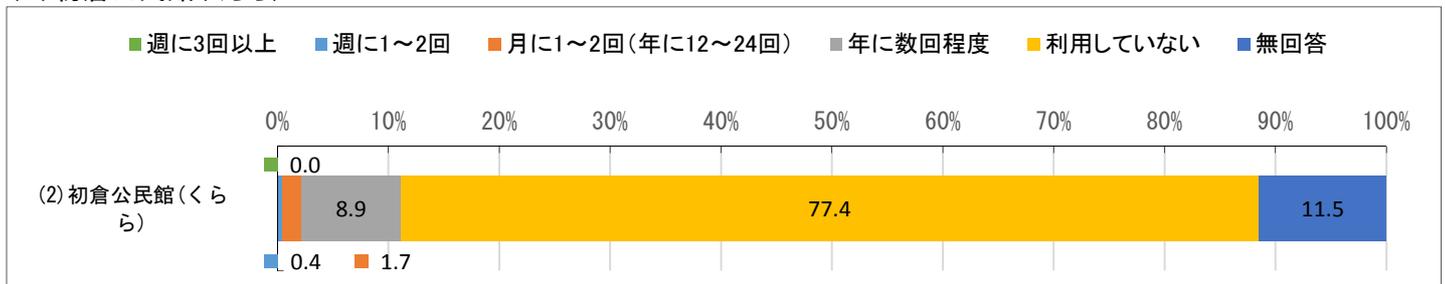


公民館等の利用回数は、地域交流センター 歩歩路の「年に数回程度」が17.6%とやや高くなっている。「利用していない」は、地域交流センター 歩歩路以外の全ての施設で7割を超えており、特に六合、初倉と金谷の各公民館以外のほとんどの施設で85%前後に上っている。

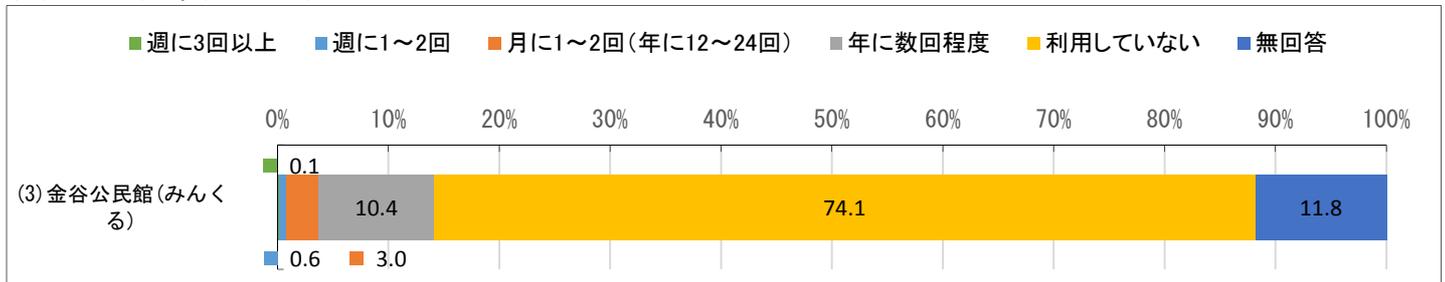
(1) 六合公民館(ロクティ)



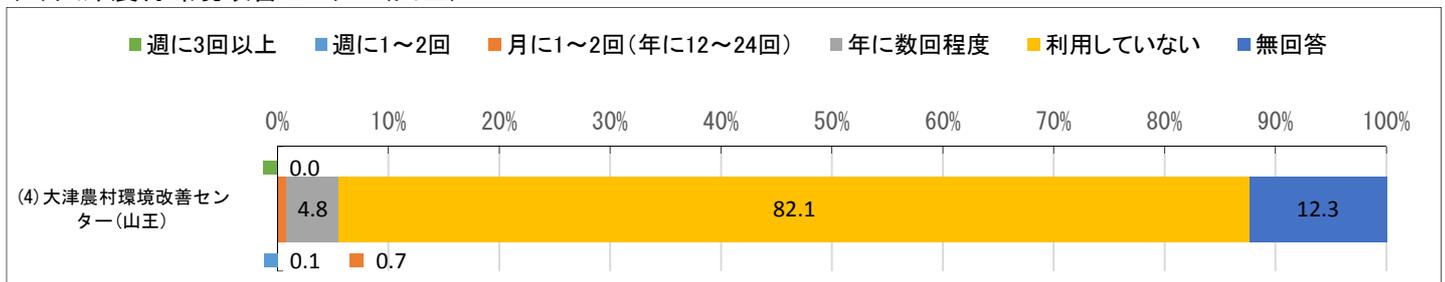
(2) 初倉公民館(くらら)



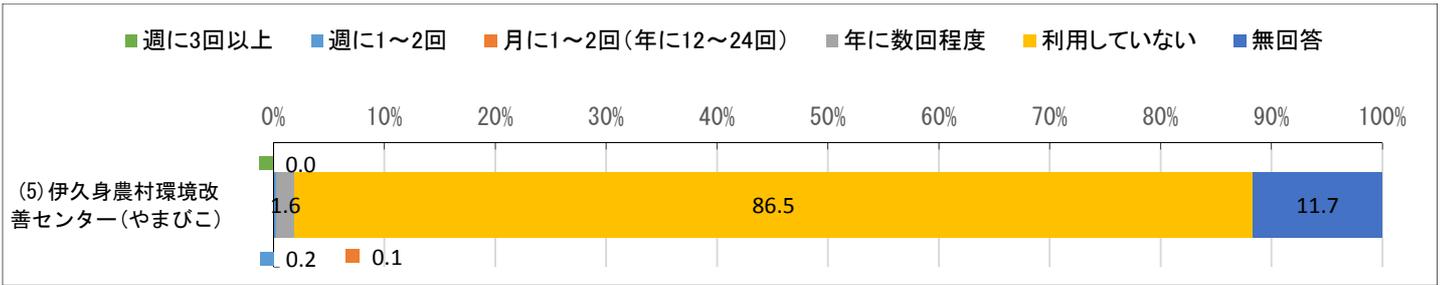
(3) 金谷公民館(みんくる)



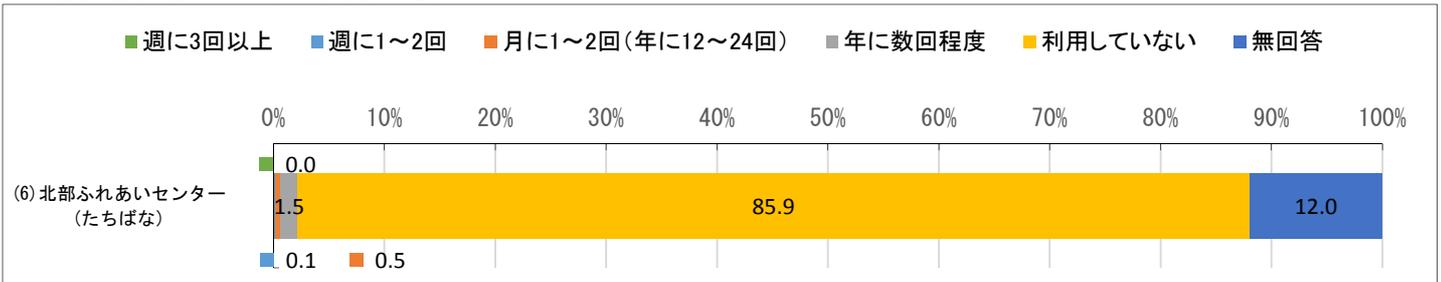
(4) 大津農村環境改善センター(山王)



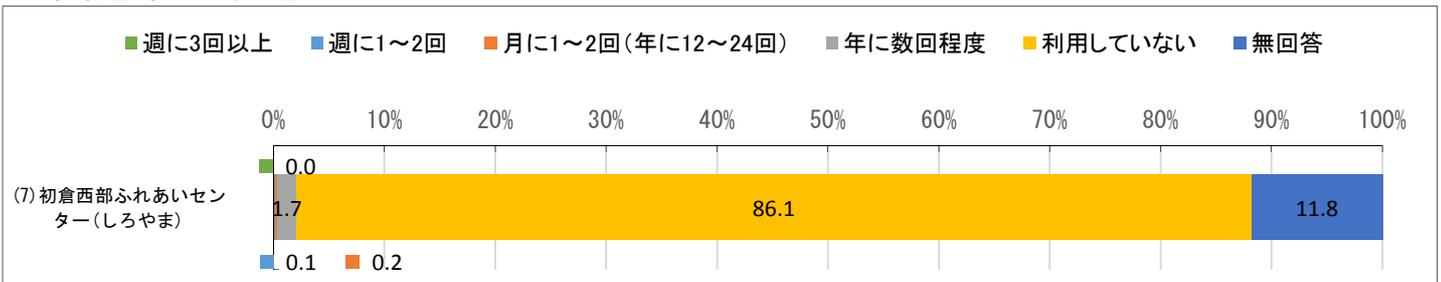
(5) 伊久身農村環境改善センター(やまびこ)



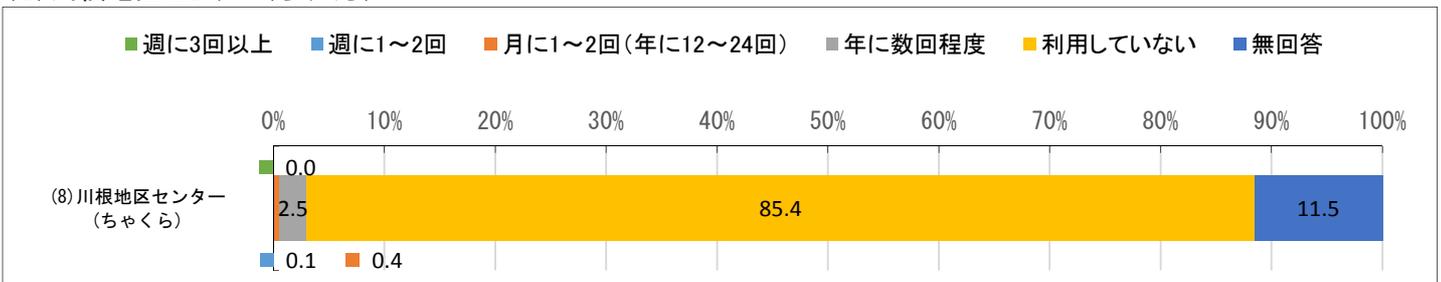
(6) 北部ふれあいセンター(たちばな)



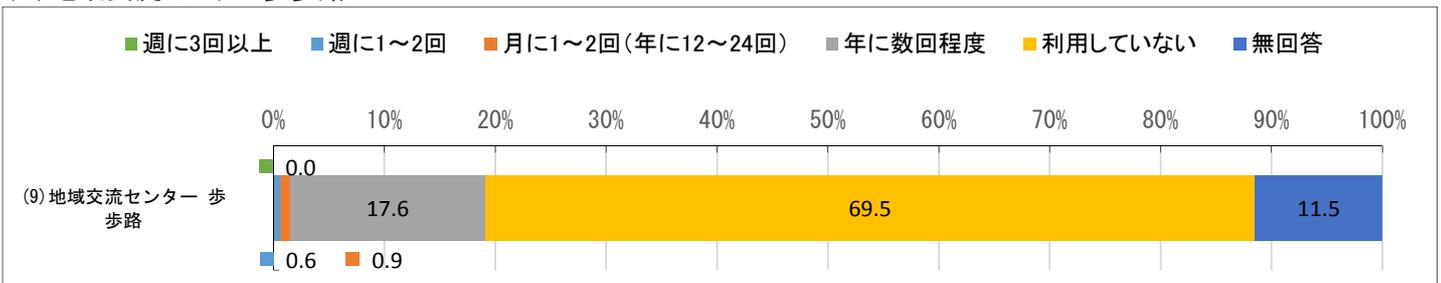
(7) 初倉西部ふれあいセンター(しろやま)



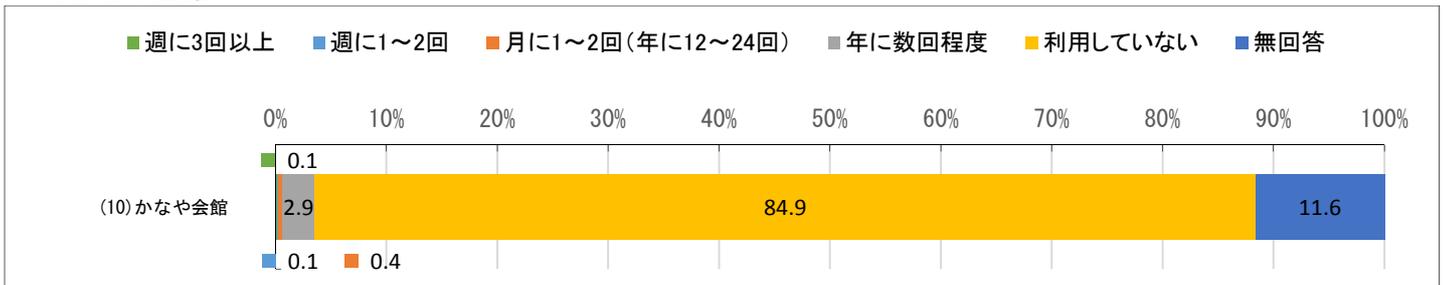
(8) 川根地区センター(ちゃくら)



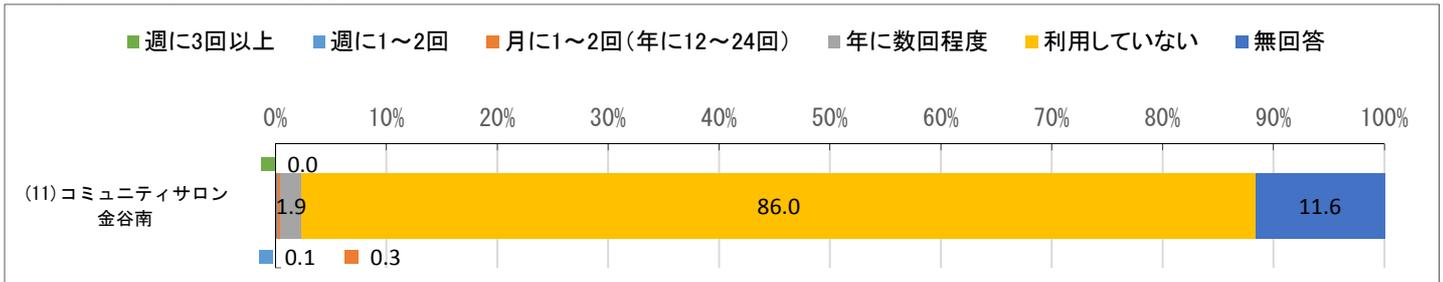
(9) 地域交流センター歩歩路



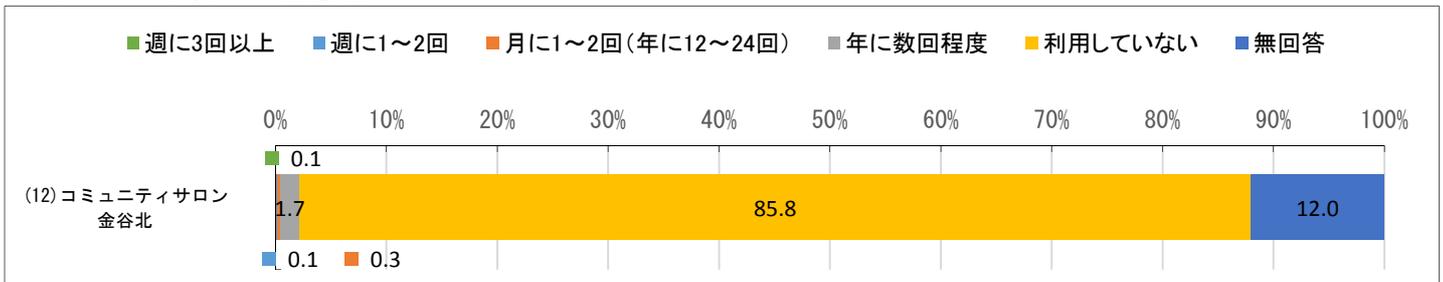
(10) かなや会館



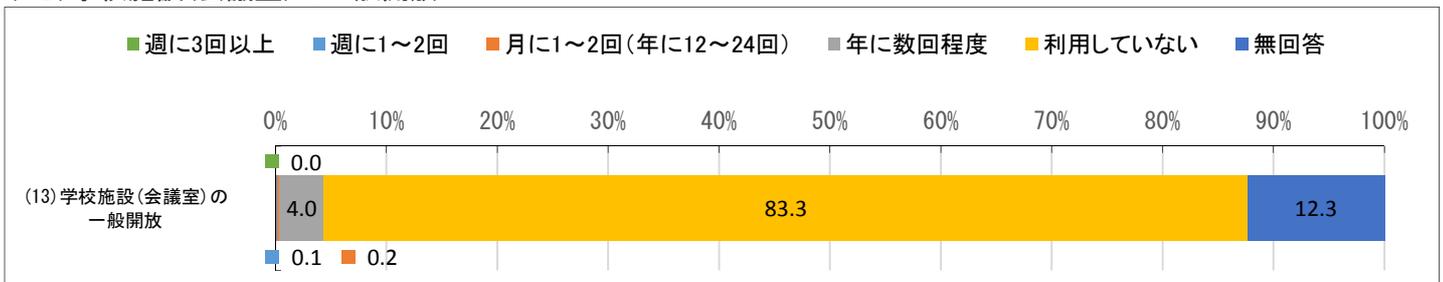
(11) コミュニティサロン金谷南



(12) コミュニティサロン金谷北



(13) 学校施設(会議室)の一般開放

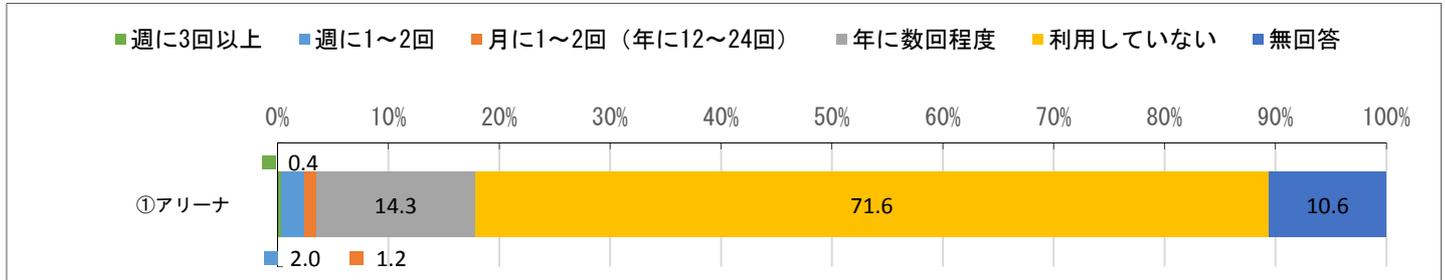


## V 体育施設

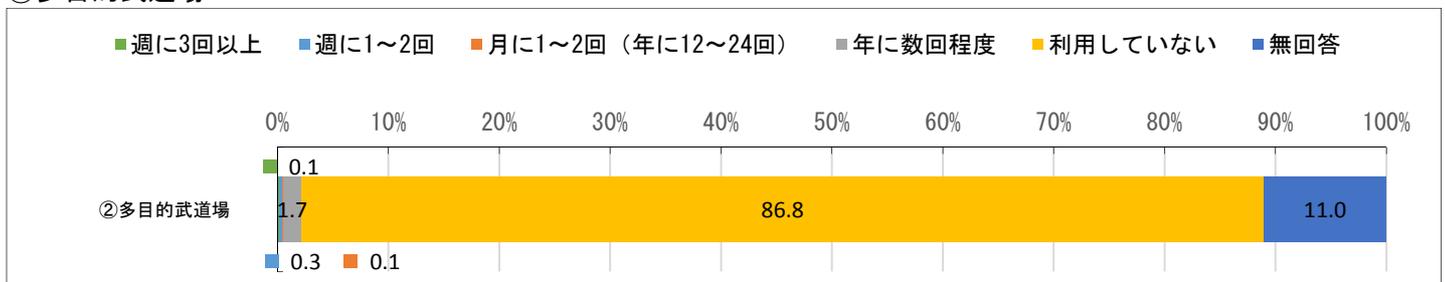
体育施設の利用回数は、総合スポーツセンターローズアリーナのアリーナ（メイン又はサブ）の「年に数回程度」が14.3%とやや高くなっている。「利用していない」は、総合スポーツセンターローズアリーナの多目的武道場・弓道場・その他（研修室等）と川根体育館で約9割を占めている。

### (1)総合スポーツセンター ローズアリーナ

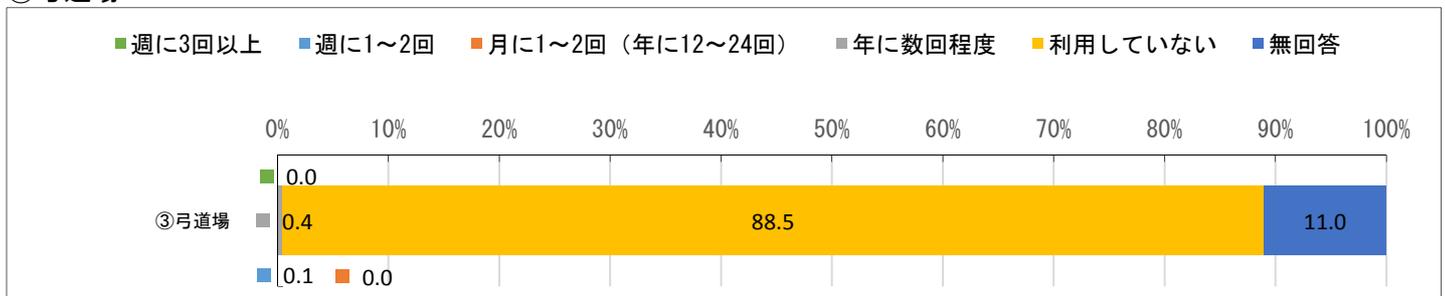
#### ①アリーナ(メイン又はサブ)



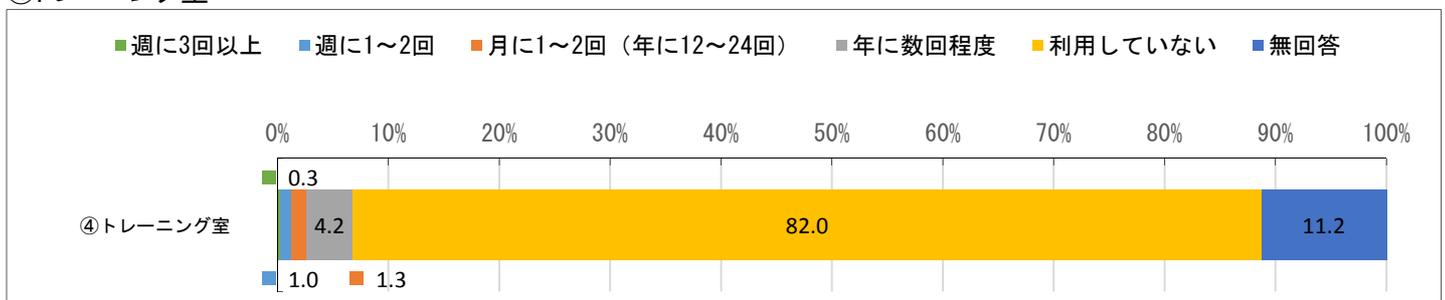
#### ②多目的武道場



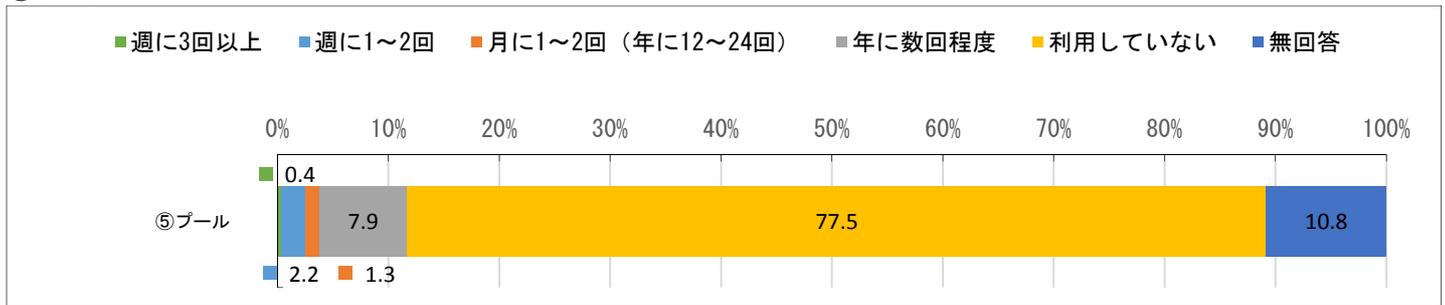
#### ③弓道場



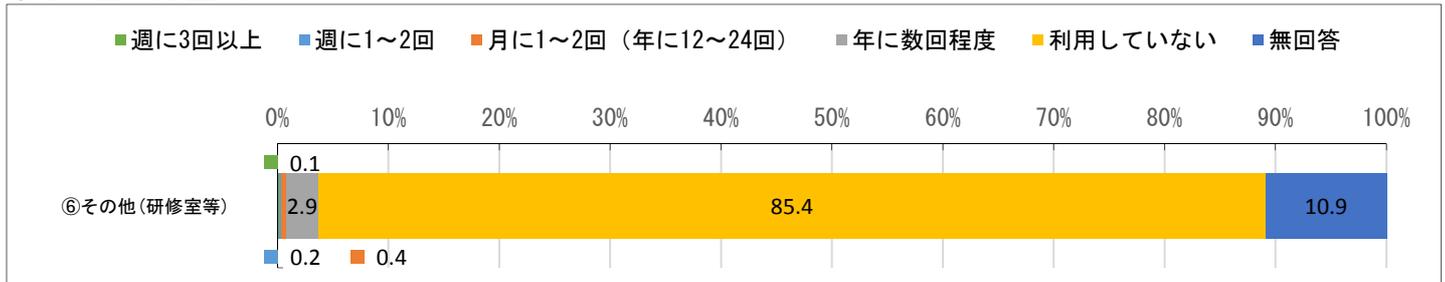
#### ④トレーニング室



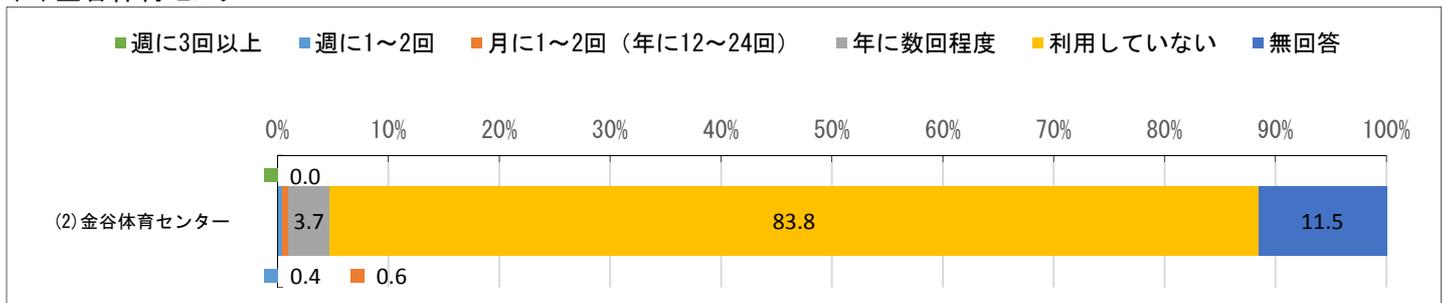
⑤ プール



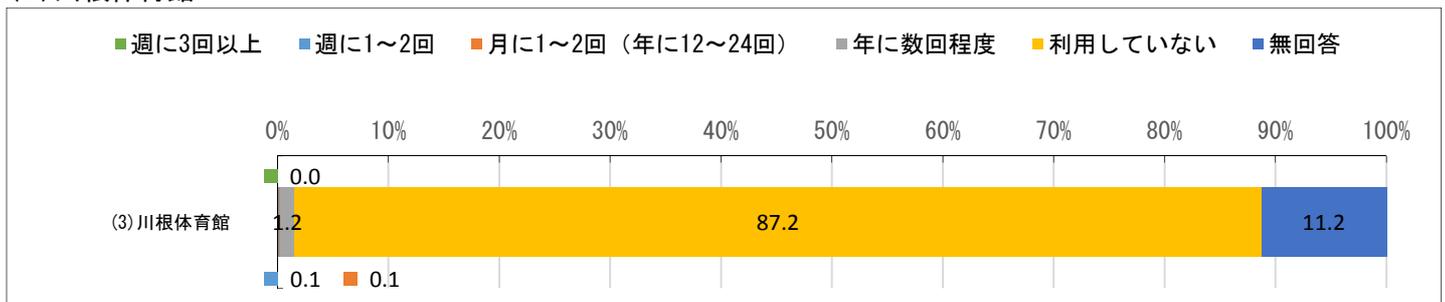
⑥ その他(研修室等)



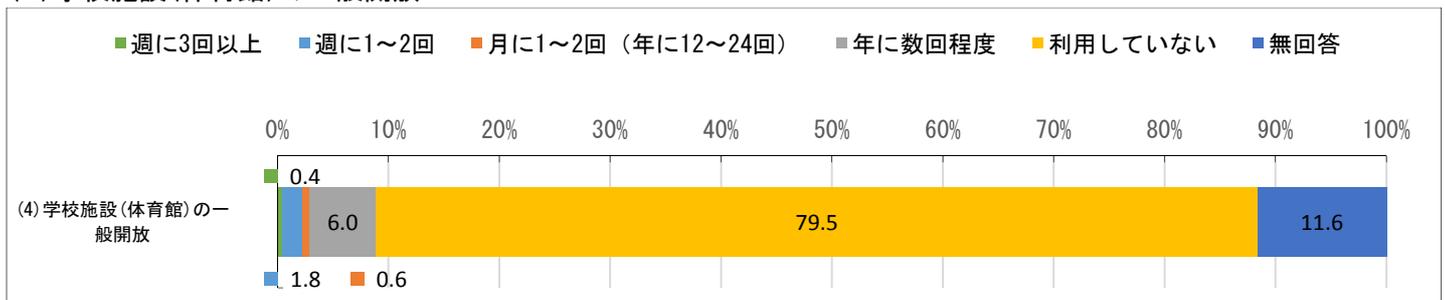
(2) 金谷体育センター



(3) 川根体育館



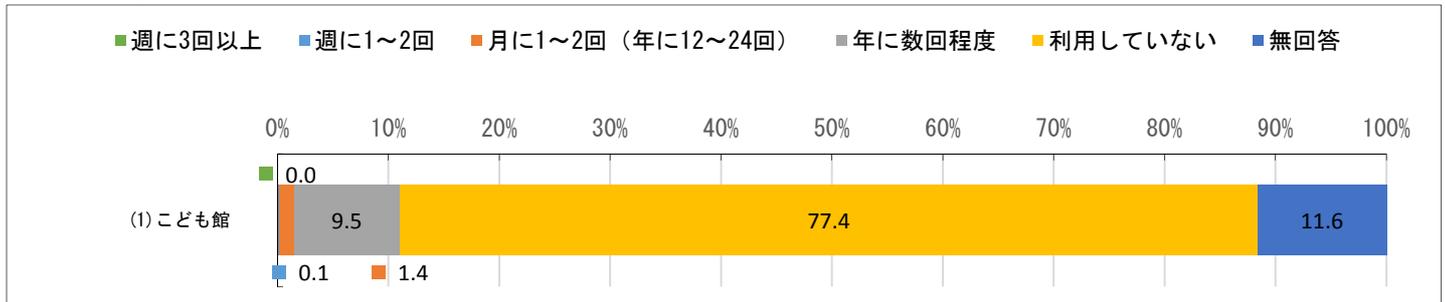
(4) 学校施設(体育館)の一般開放



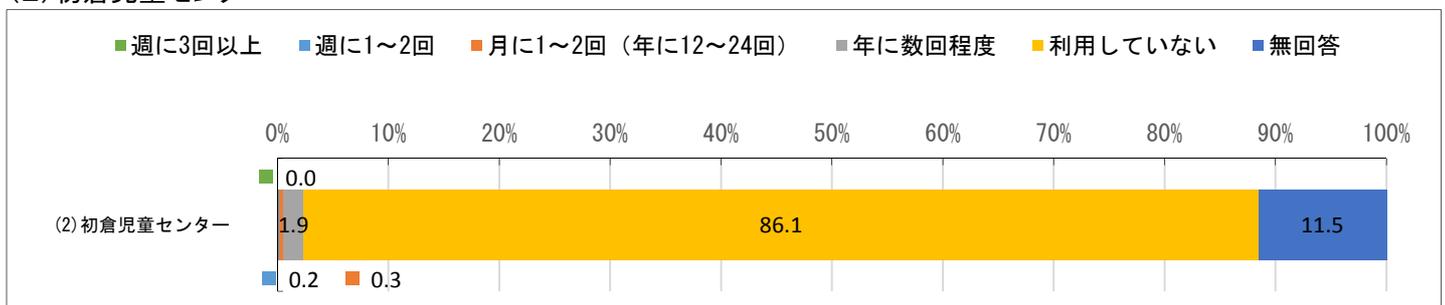
## Ⅵ 児童福祉関連施設

児童福祉関連施設の利用回数は、こども館の「年に数回程度」が9.5%とやや高くなっている。「利用していない」は、初倉児童センターと川根児童館で約9割を占めている。

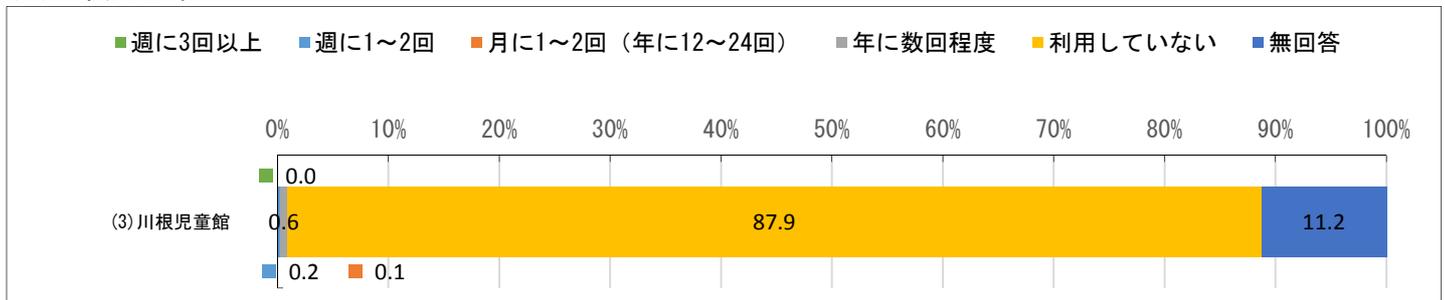
### (1)こども館



### (2)初倉児童センター



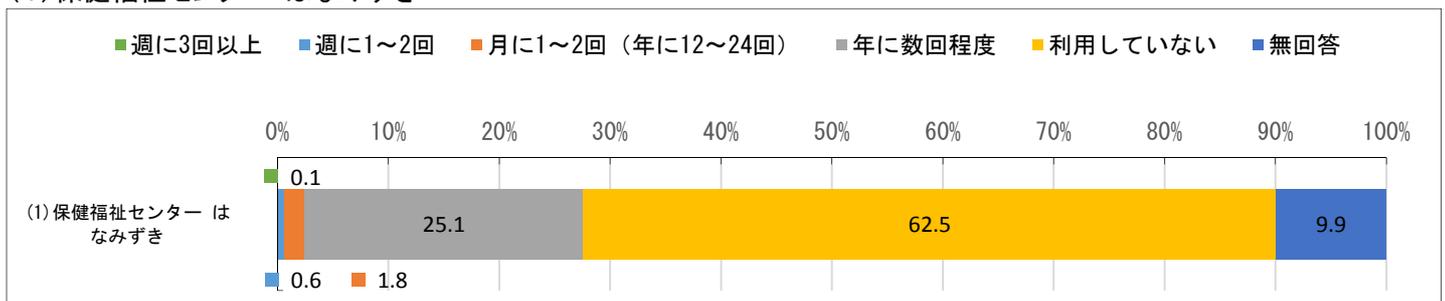
### (3)川根児童館



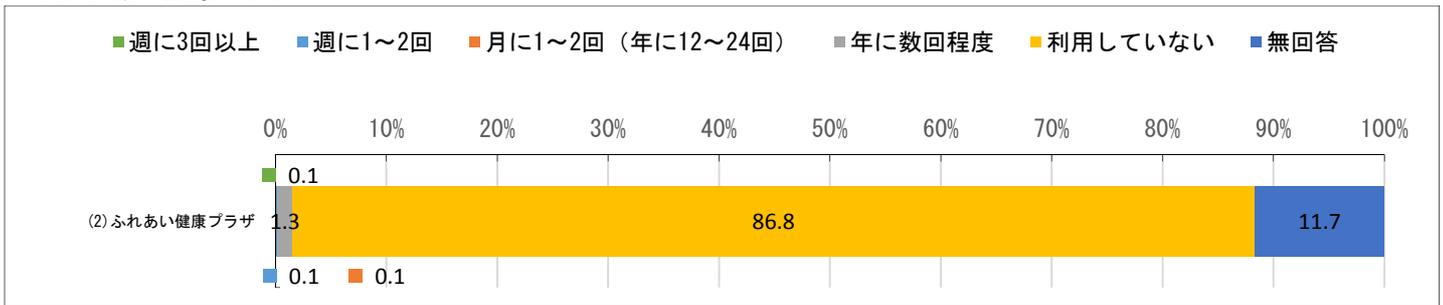
## Ⅶ 保健福祉施設

保健福祉施設の利用回数は、保健福祉センターはなみずきの「年に数回程度」が25.1%とやや高くなっている。「利用していない」は、保健福祉センターはなみずき以外の全ての施設で9割近くを占めている。

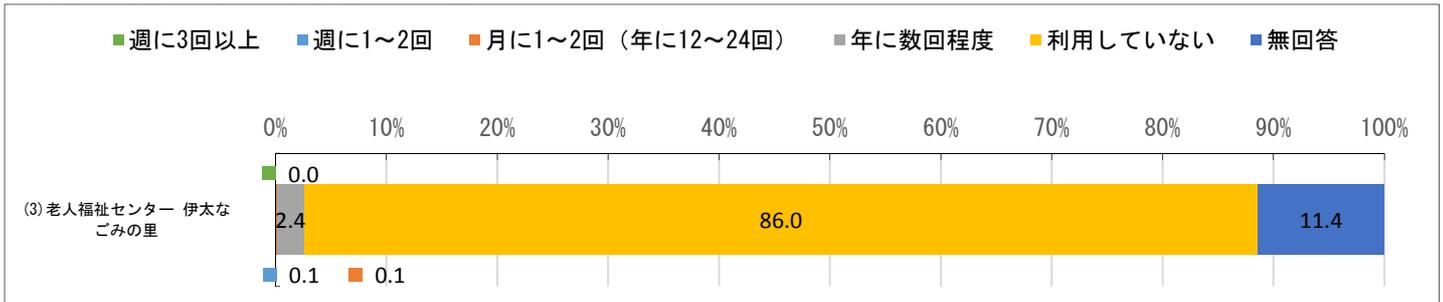
### (1)保健福祉センター はなみずき



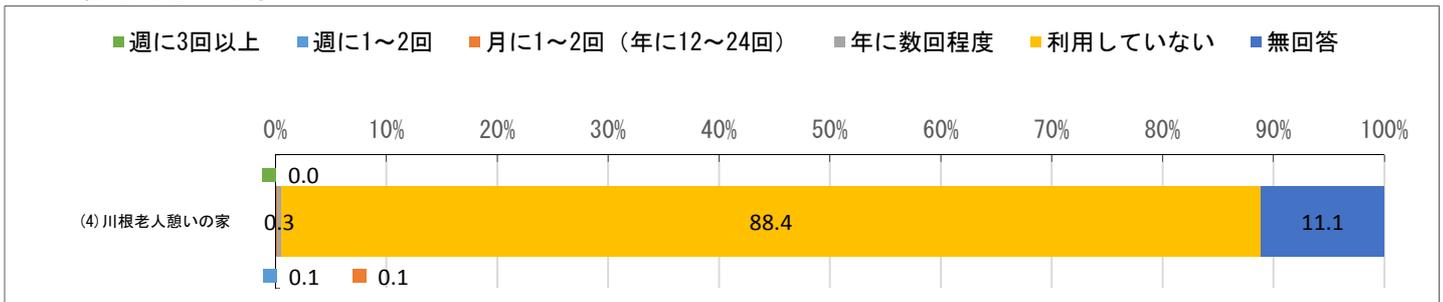
(2) ふれあい健康プラザ



(3) 老人福祉センター 伊太なごみの里



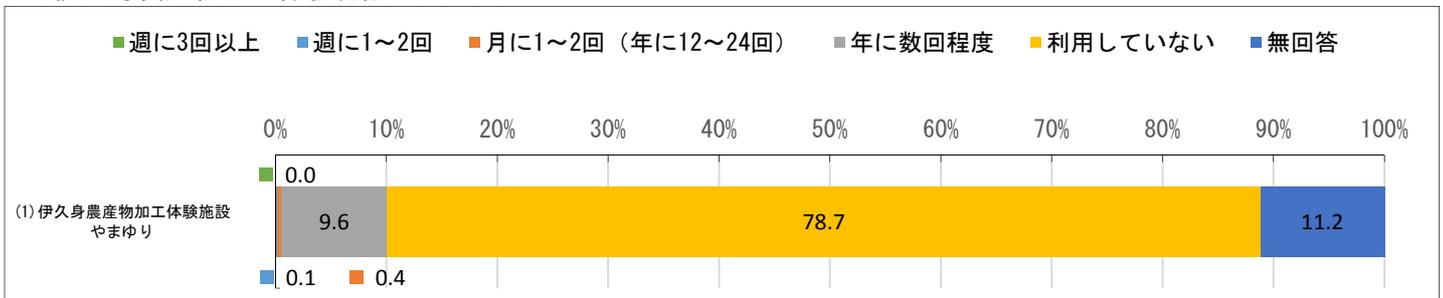
(4) 川根老人憩いの家



Ⅷ 産業振興施設

産業振興施設の伊久身農産物加工体験施設やまゆりの利用回数は、「年に数回程度」が9.6%と最も高くなっている。「利用していない」は、約8割を占めている。

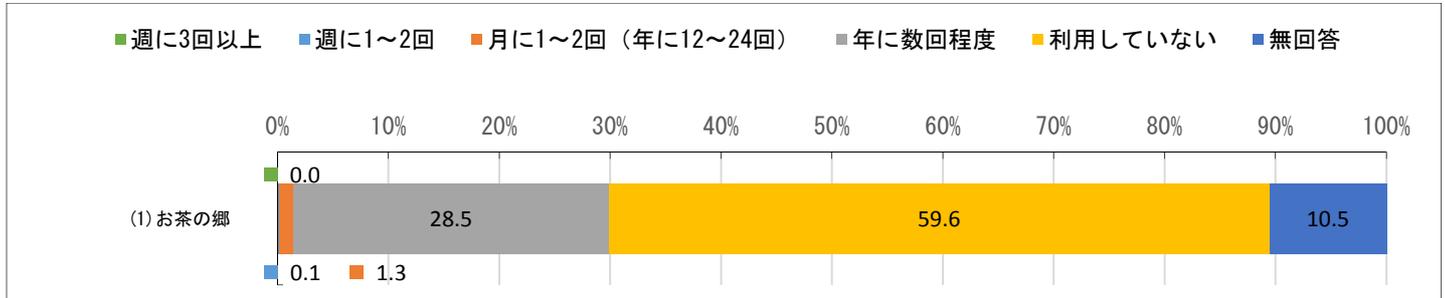
(1) 伊久身農産物加工体験施設 やまゆり



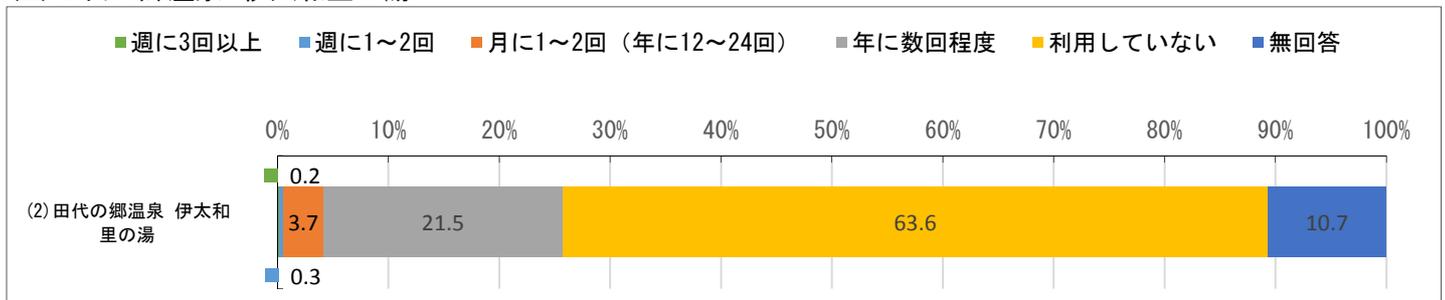
## Ⅸ 観光施設

観光施設の利用回数は、川根温泉ふれあいの泉（温泉・プール）の「週に3回以上」～「年に数回程度」を合わせた割合が34.6%とやや高くなっている。「利用していない」は、全ての施設で約6～8割を占めている。

### (1)お茶の郷

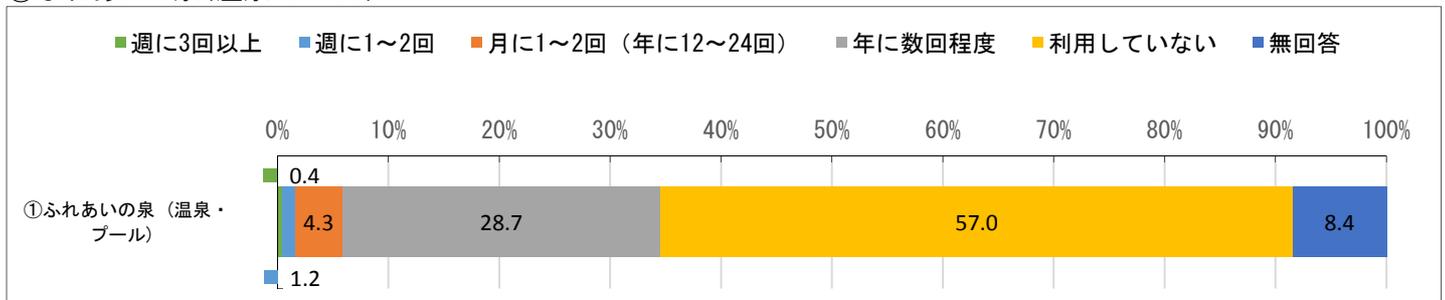


### (2)田代の郷温泉 伊太和里の湯

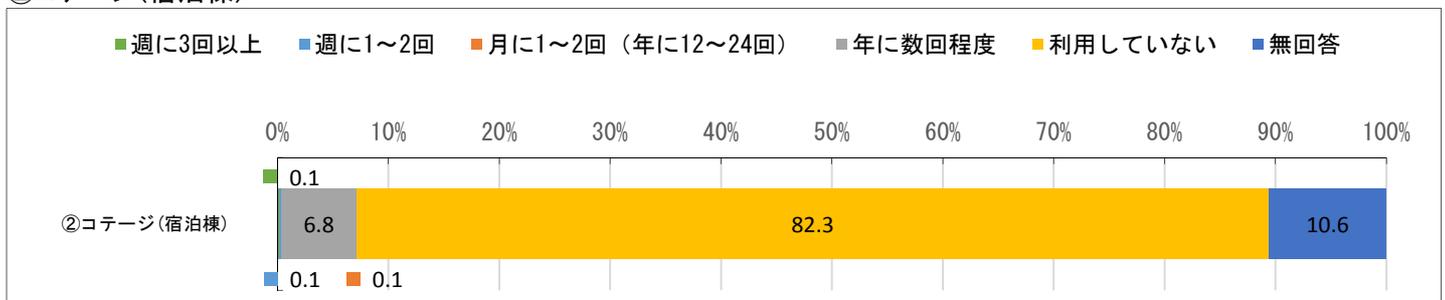


### (3)川根温泉

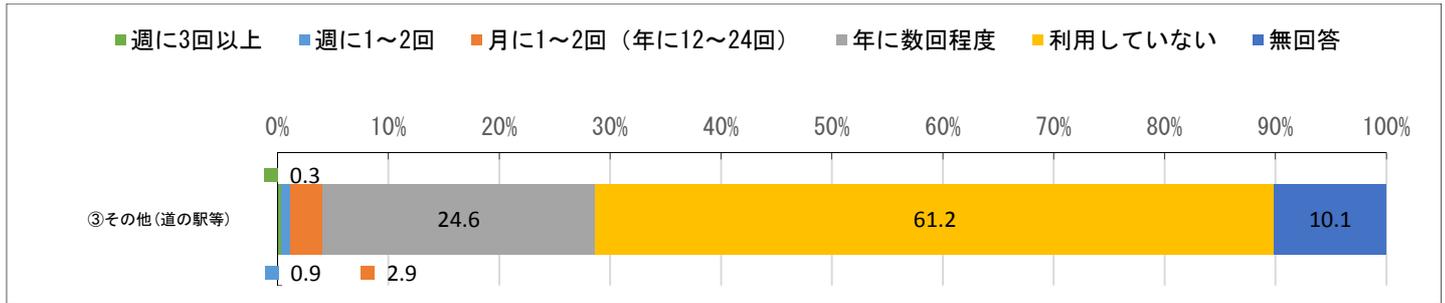
#### ①ふれあいの泉(温泉・プール)



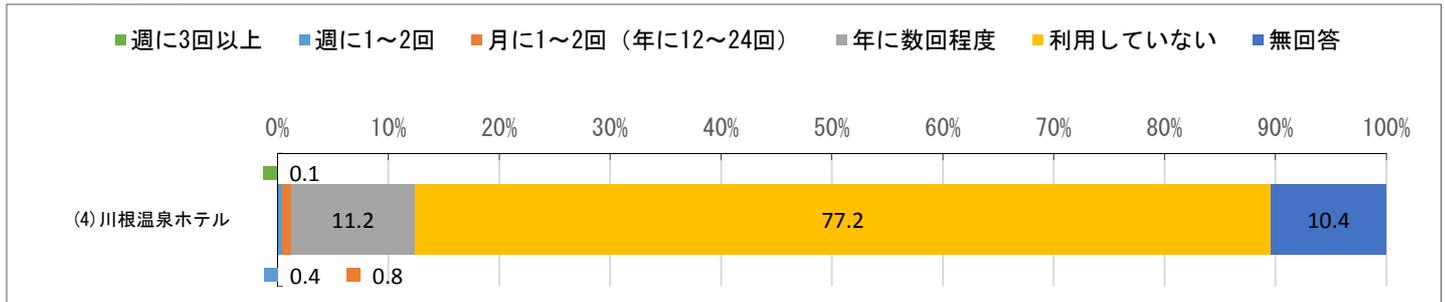
#### ②コテージ(宿泊棟)



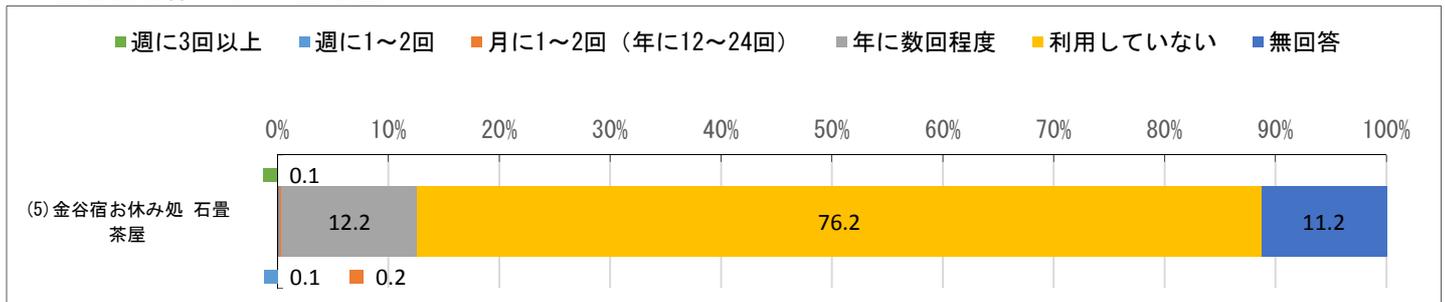
③その他(道の駅等)



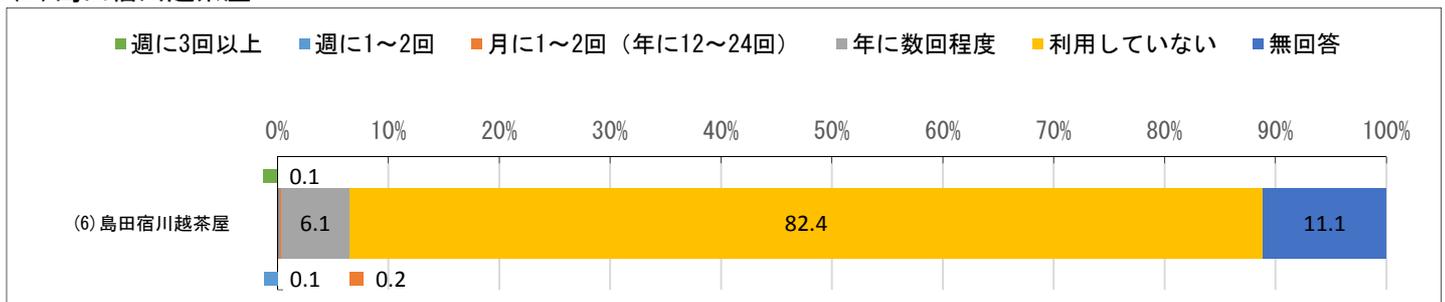
(4)川根温泉ホテル



(5)金谷宿お休み処 石畳茶屋



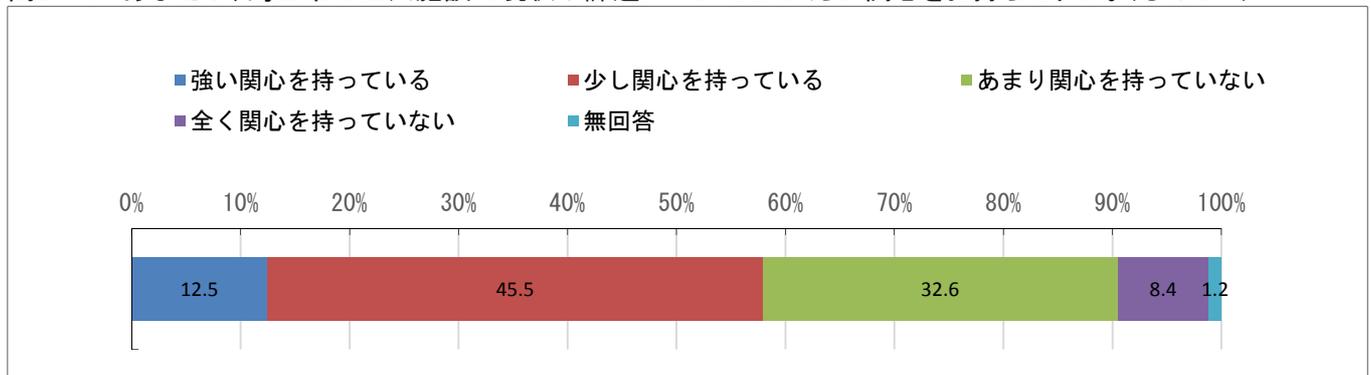
(6)島田宿川越茶屋



## 公共施設の現状及び課題に対する関心について

問8 島田市では、全ての公共施設のデータを取りまとめた上で、現在ある公共施設を今後も維持し、建て替えていくための費用を試算したところ、将来的に資金が不足するおそれがあることが分かりました。  
このことに関し、お聞きします。

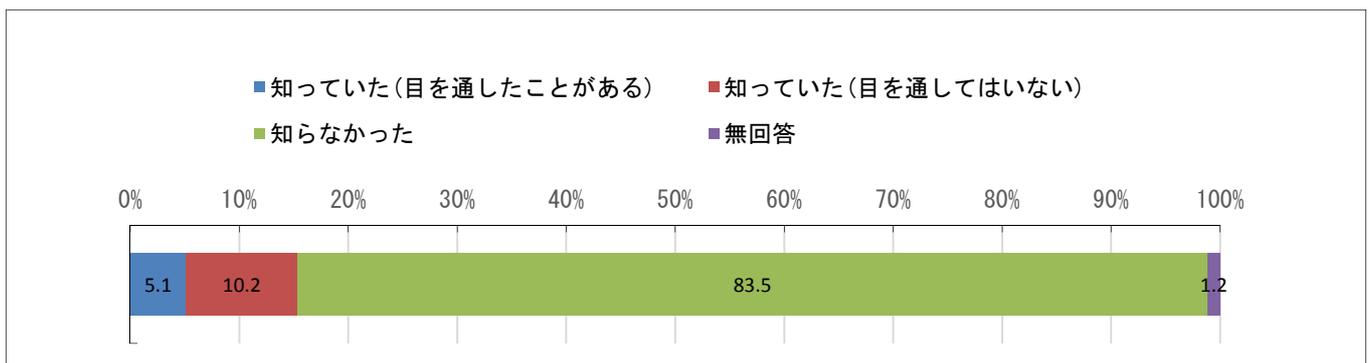
問8-1 あなたは、島田市の公共施設の現状や課題についてどのくらい関心をお持ちですか。(○は1つ)



島田市の公共施設の現状や課題への関心度は、「少し関心を持っている」が45.5%と最も高く、「あまり関心を持っていない」32.6%、「強い関心を持っている」12.5%、「全く関心を持っていない」8.4%と続いている。

「強い関心を持っている」と「少し関心を持っている」を合わせた“関心あり”は58.0%、「あまり関心を持っていない」と「全く関心を持っていない」を合わせた“関心なし”は41.0%となっている。

問8-2 島田市では、保有する全ての公共施設の状況を「見える化」することを目的として、「公共施設白書」を作成し、平成27年2月から島田市のホームページや情報公開コーナーなどで公表しています。  
あなたは、この「公共施設白書」のことをご存知でしたか。(○は1つ)

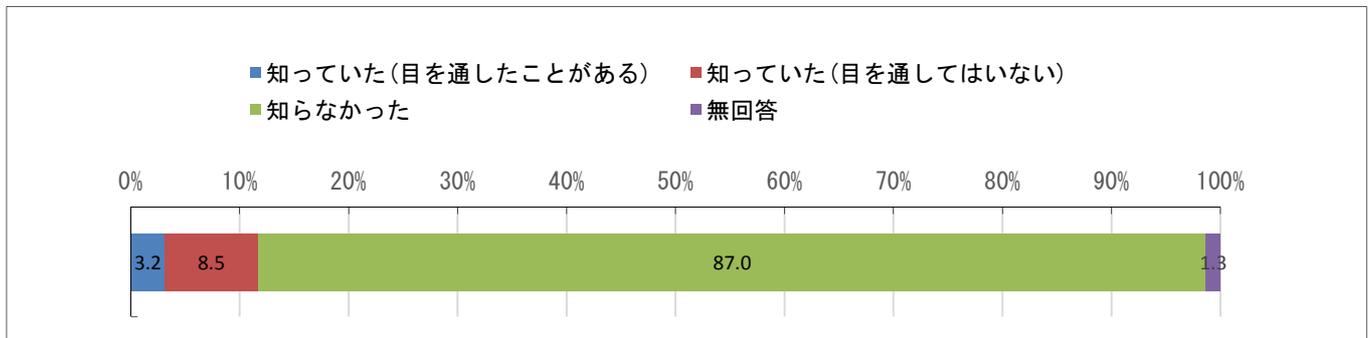


「公共施設白書」の認知度は、「知らなかった」が83.5%と最も高く、「知っていた(目を通してはいない)」10.2%、「知っていた(目を通したことがある)」5.1%と続いている。

「知っていた(目を通したことがある)」と「知っていた(目を通してはいない)」を合わせた“知っていた”は15.3%となっている。

問8-3 島田市では、「公共施設白書」を通して明らかとなった課題を整理し、今後の取り組みの方向性を示すため、「公共建築物管理適正化基本方針」を平成27年3月に策定し、島田市のホームページや情報公開コーナーなどで公表しています。

あなたは、この「公共建築物管理適正化基本方針」のことをご存知でしたか。(〇は1つ)



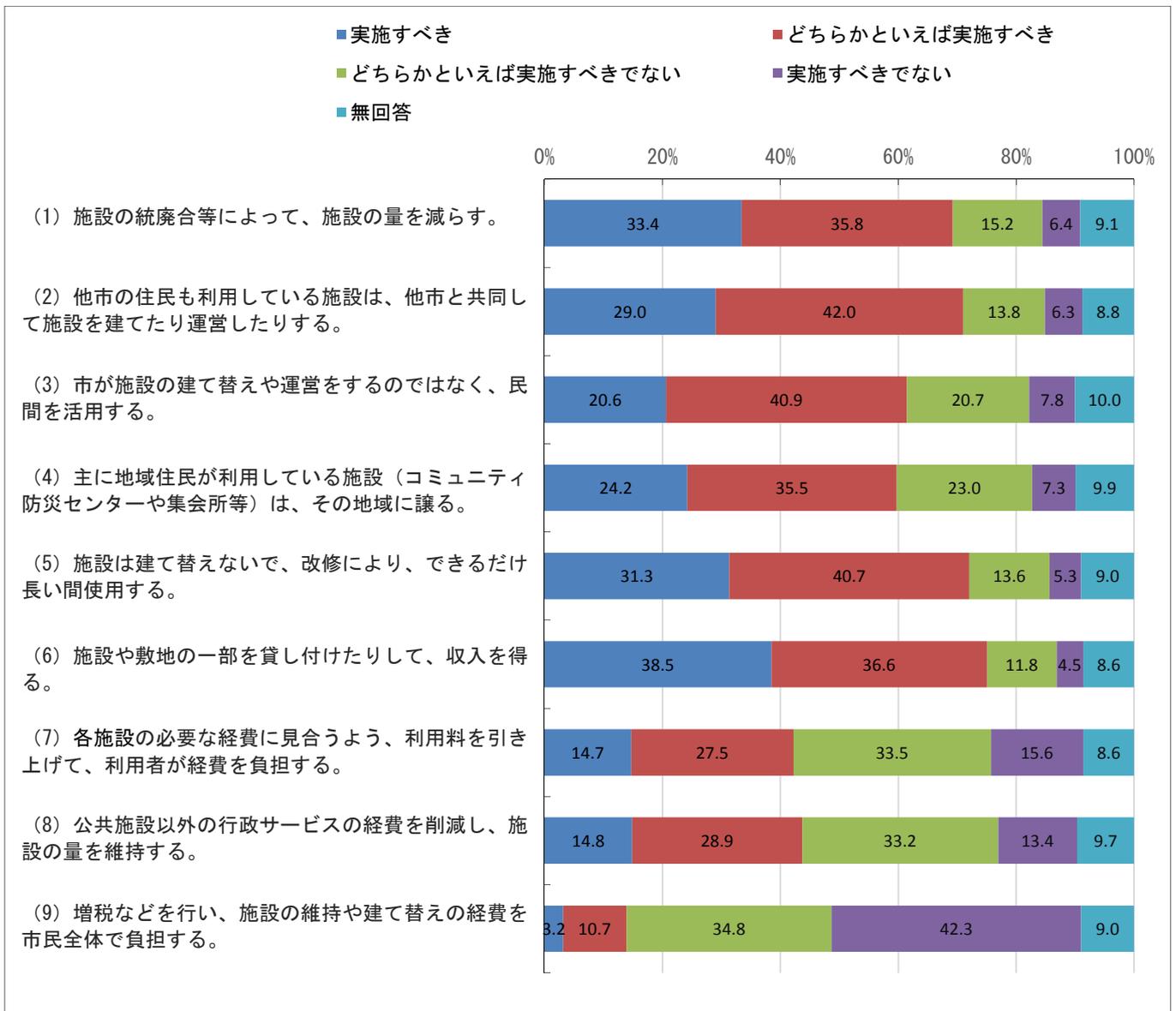
「公共建築物管理適正化基本方針」の認知度は、「知らなかった」が87.0%と最も高く、「知っていた(目を通してはいない)」8.5%、「知っていた(目を通したことがある)」3.2%と続いている。

「知っていた(目を通したことがある)」と「知っていた(目を通してはいない)」を合わせた“知っていた”は11.7%となっている。

## 公共施設マネジメントの取組に対する考え方について

問9 「公共施設マネジメント」の取り組みについて伺います。

島田市が将来にわたり公共施設を通して適切にサービスを提供し続けるためには、様々な視点から検討する必要があり、例えば、次のような方策が考えられます。あなたは、これらの方策についてどのようにお考えですか。(〇は1つ)



適切な公共サービスを提供していくための方策についての考えは、「実施すべき」が『施設や敷地の一部を貸し付けたりして、収入を得る』で約4割を占めている。

「実施すべきではない」は『増税などを行い、施設の維持や建て替えの経費を市民全体で負担する』で42.3%と、他の方策に比べて目立って高くなっている。

『施設の統廃合等によって、施設の量を減らす』・『他市の住民も利用している施設は、他市と共同して施設を建てたり運営したりする』・『施設は建て替えないで、改修により、できるだけ長い間使用する』・『施設や敷地の一部を貸し付けたりして、収入を得る』は、「実施すべき」と「どちらかといえば実施すべき」を合わせた“実施に対し前向きな回答”が約7割を占めている。

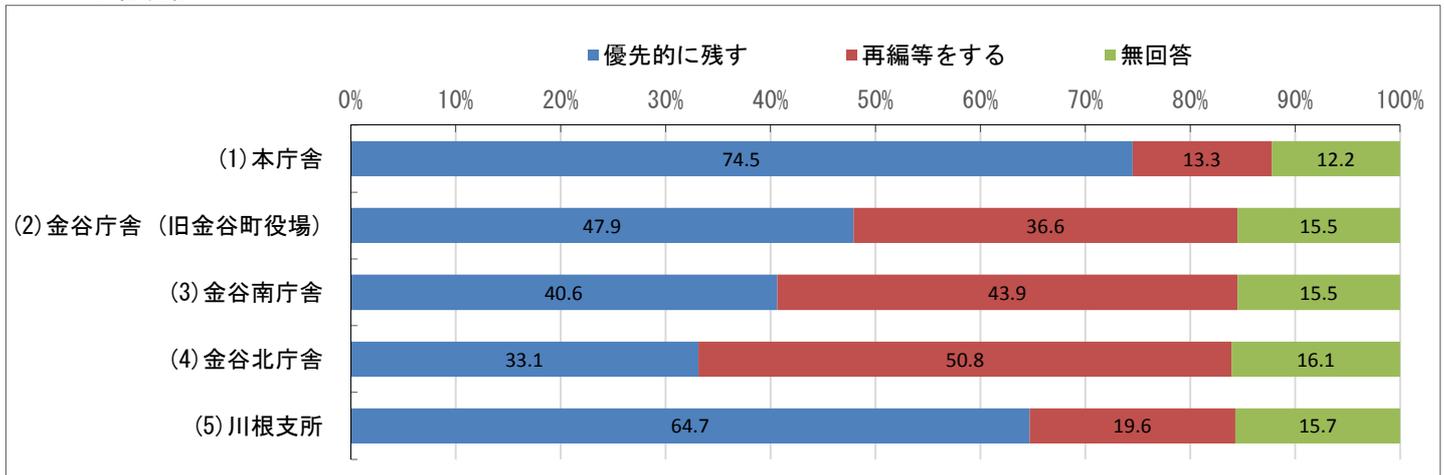
## 公共施設の今後のあり方について

問10 最後に、各施設の今後のあり方について伺います。

一覧表の各施設について、「将来にわたって優先的に残すべき(保有するべき)」と考える場合は、表の「優先的に残す」の回答欄に「○」を付けてください。

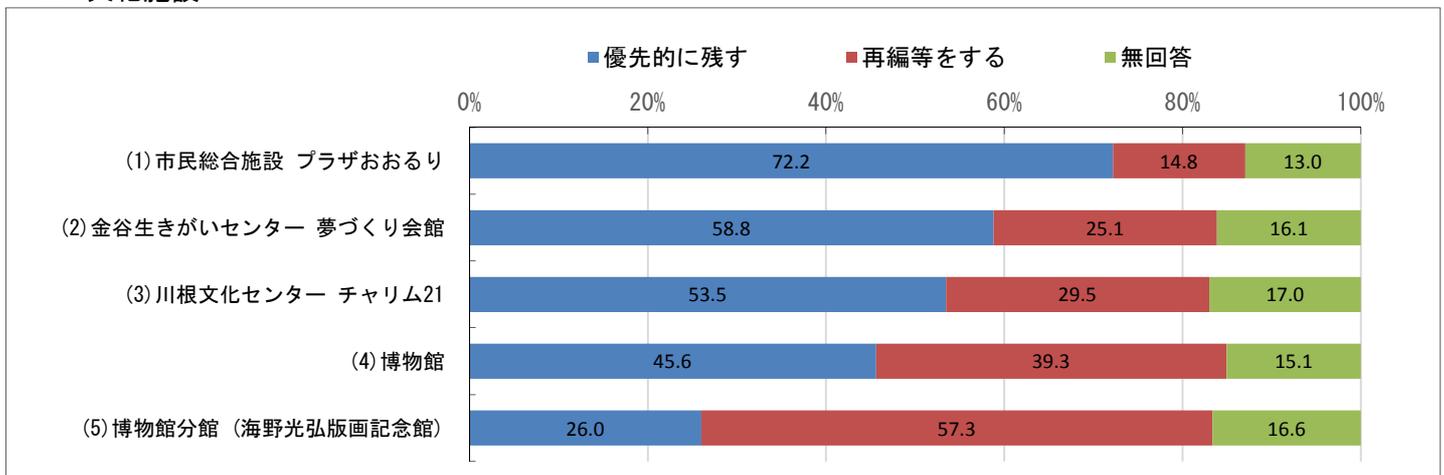
また、「統廃合や施設内容の変更などをすべき」と考える場合は、表の「再編等をする」の回答欄に「○」を付けてください。

### I 庁舎施設



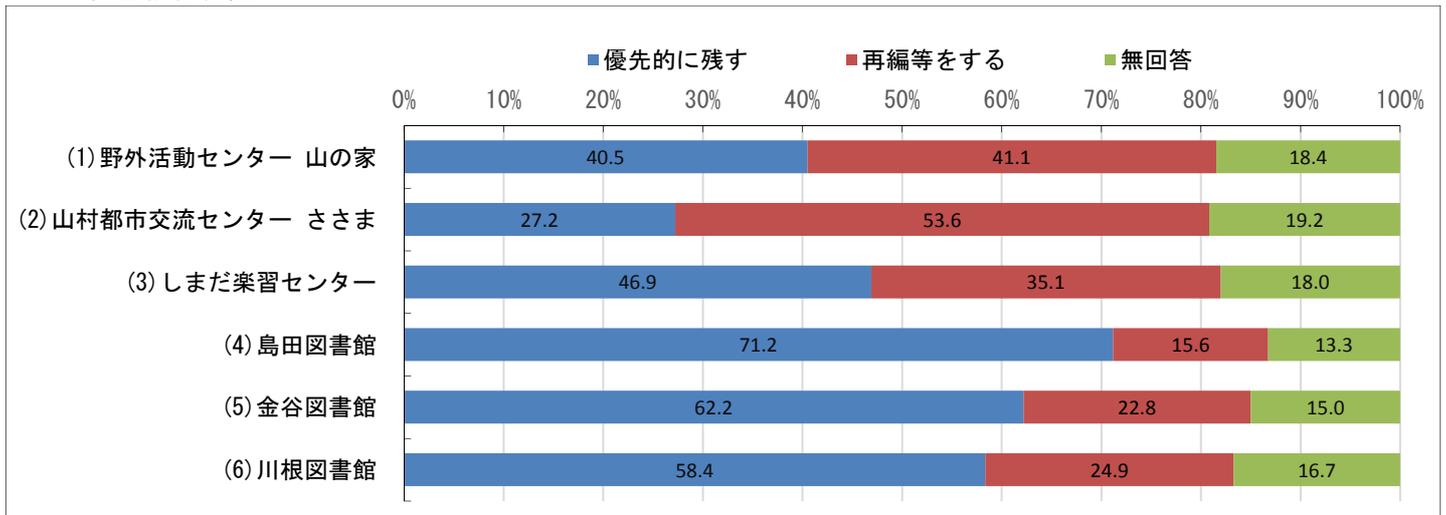
庁舎施設の今後のあり方は、本庁舎で「優先的に残す」が74.5%と高く、川根支所も6割以上を占めている。「再編等をする」は、金谷北庁舎で5割を超えている。

### Ⅱ 文化施設



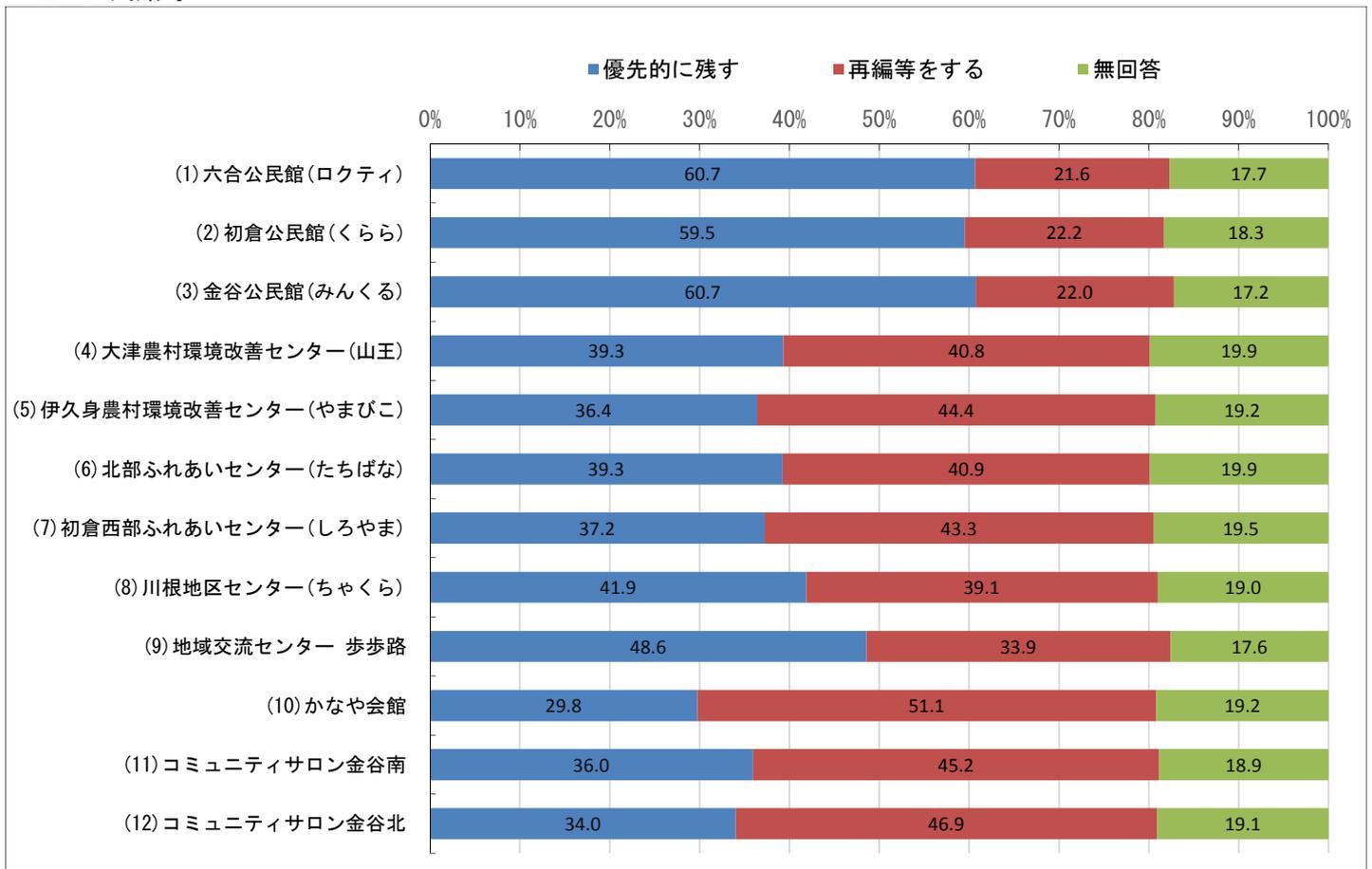
文化施設の今後のあり方は、市民総合施設 プラザおおりで「優先的に残す」が72.2%と高くなっている。「再編等をする」は、博物館分館 (海野光弘版画記念館) で約6割を占めている。

### Ⅲ 社会教育施設



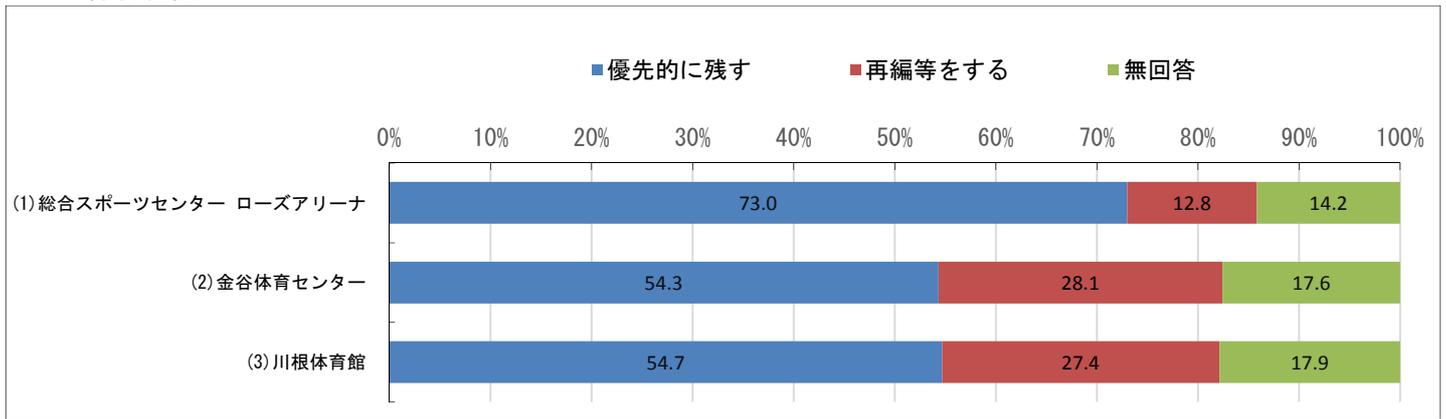
社会教育施設の今後のあり方は、島田図書館で「優先的に残す」が71.2%と高く、金谷図書館も6割以上を占めている。「再編等をする」は山村都市交流センターささまで約5割を占めている。

### Ⅳ 公民館等



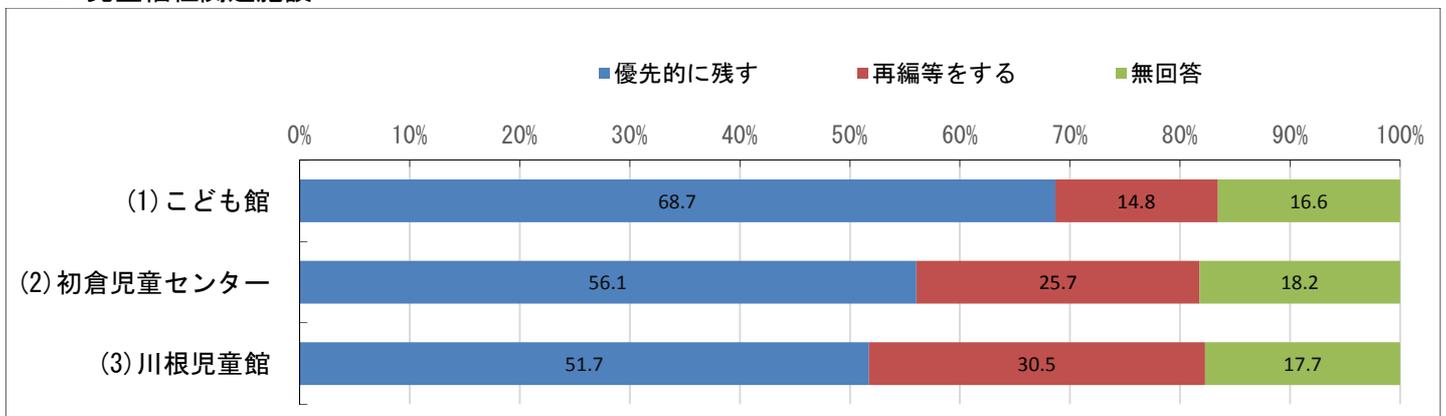
公民館等の今後のあり方は、「優先的に残す」が六合・初倉・金谷公民館の3つの施設で約6割を占めている。「再編等をする」は、かなや会館で約5割を占めている。

## V 体育施設



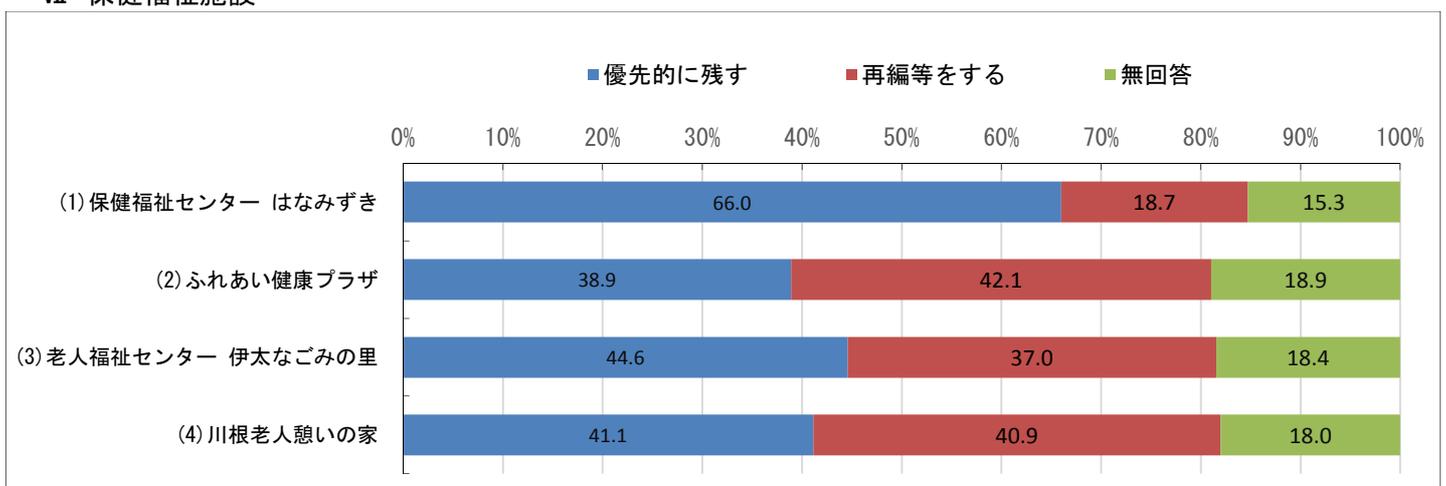
体育施設の今後のあり方は、総合スポーツセンターローズアリーナで「優先的に残す」が73.0%と高くなっている。「再編等をする」は、金谷体育センターと川根体育館で約3割を占めている。

## VI 児童福祉関連施設



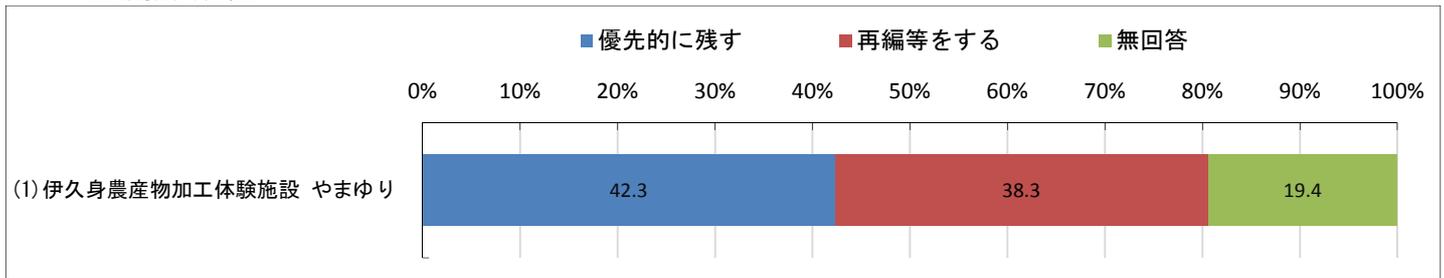
児童福祉関連施設の今後のあり方は、こども館で「優先的に残す」が68.7%と高くなっている。「再編等をする」は、初倉児童センターと川根児童館で約3割を占めている。

## VII 保健福祉施設



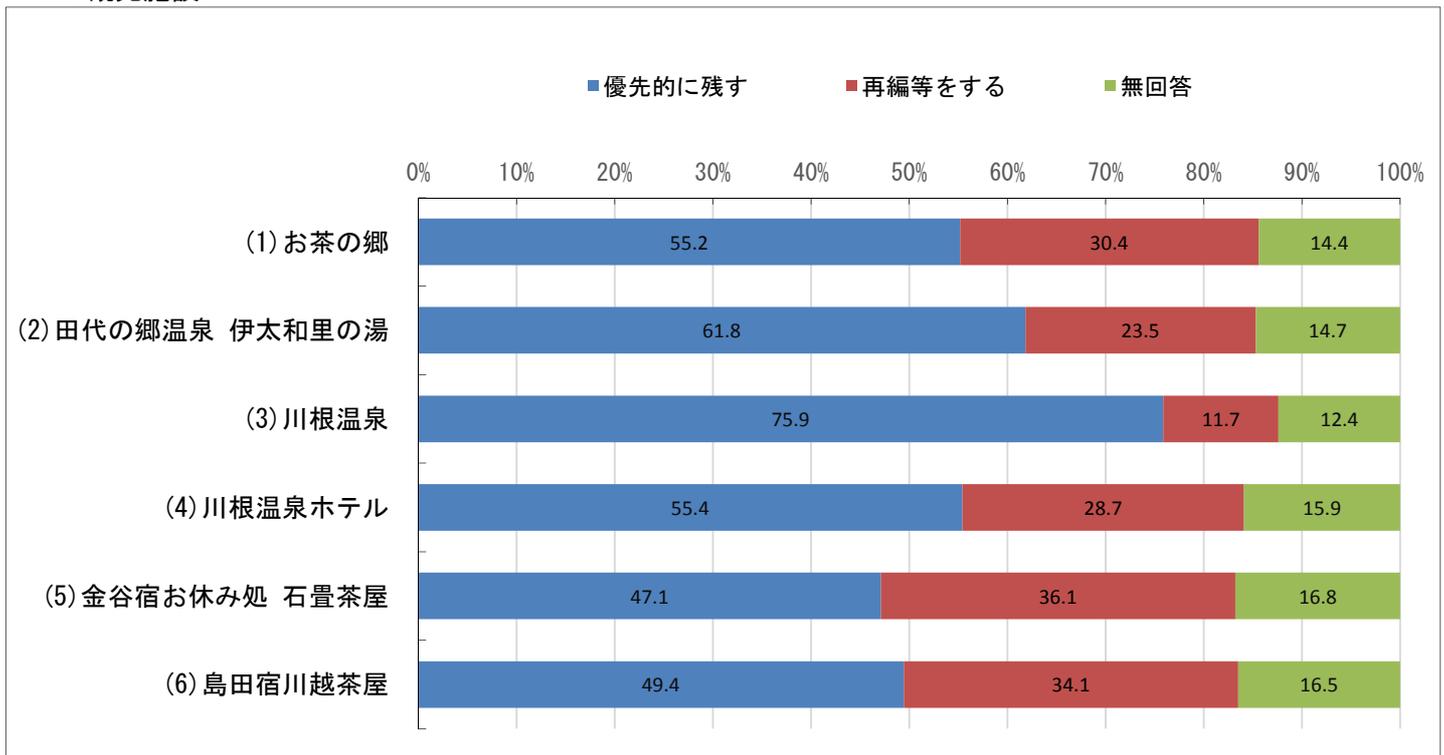
保健福祉施設の今後のあり方は、保健福祉センターはなみずきで「優先的に残す」が66.0%と高くなっている。保健福祉センターはなみずき以外の施設は、「優先的に残す」と「再編等をする」がともに約4割を占めており、ほぼ均等な割合となった。

## Ⅷ 産業振興施設



産業振興施設の伊久身農産物加工体験施設やまゆりの今後のあり方は、「優先的に残す」が「再編等をする」をやや上回っている。

## Ⅸ 観光施設



観光施設の今後のあり方は、川根温泉で「優先的に残す」が75.9%と高く、田代の郷温泉伊太和里の湯も約6割を占めている。「再編等をする」は、金谷宿お休み処石畳茶屋で36.1%と他に比べてやや高くなっている。

## まとめ

注)以下の記述中「公共施設を利用しない理由に関する分析」及び「回答者の居住地域別の回答内容に関する分析」について触れている箇所があるが、この概要版ではこれらに関する調査結果の記載を省略していることから、これらの調査結果については報告書本編を参照されたい。

### 1 公共施設の利用状況について

- ◆市役所本庁舎とプラザおおるり以外の施設は、多くの市民が1年間のうちに1度も使用していないと考えられる。
  - ▶ 対象の54施設のうち、「過去1年間で1度も利用していない」と答えた人が7割を超えている施設は44施設(81.5%)、8割を超えている施設は27施設(50.0%)を占めている。
  - ▶ 過去1年間で1回以上利用した人が5割前後に上っているのは、本庁舎(55.6%)と市民総合施設プラザおおるり(47.6%)のみとなっている。
- ◆公共施設を利用していない市民にとって、公共施設はあまり必要と感じていないと考えられる。
  - ▶ 公共施設を利用しない理由は、全ての施設で「利用を必要とする機会がない」が8割を超えている。

### 2 公共施設の現状及び課題に対する関心について

- ◆現状や課題について関心は比較的高いものの、市の取組への認知度は低い。
  - ▶ 公共施設の現状や課題について“関心あり”としている人が6割近くいるにもかかわらず、「公共施設白書」や「公共建築物管理適正化基本方針」について知らなかった人は8割以上に上っており、取組について十分に周知されていないといえる。

### 3 公共施設マネジメントの取組に対する考え方について

- ◆収入の確保や新規整備の抑制などを通して、合理的に運営すべきとの考えが強い。
  - ▶ 貸し付け、改修、他市との共同運営、統廃合の順に、実施に対し前向きな回答の割合が高い。
  - ▶ 民間の活用や地域への移譲については、実施に対し前向きな回答が過半数を占めるものの、実施に対し慎重な回答もやや多い。
- ◆市民や利用者に負担となる施策については慎重な考えが強い。
  - ▶ 利用料の引き上げや公共施設以外のサービス削減に対しては、実施に対し慎重な回答が実施に対し前向きな回答をやや上回っている。
  - ▶ 増税などにより市民全体で負担するという考え方に対しては、8割以上が実施に対し慎重な回答をしている。

### 4 公共施設の今後のあり方について

- ◆次のいずれかに当てはまる施設は、「優先的に残す」の割合が高くなる傾向にあると考えられる。
  - ▶ このアンケートにおいて、過去1年間で1回以上利用した人の割合が高い施設(本庁舎・市民総合施設プラザおおるり)
  - ▶ 年間利用者数が多い施設(総合スポーツセンターローズアリーナ、川根温泉)
  - ▶ 比較的新しい施設(島田図書館、こども館)
  - ▶ 地域の拠点として必要性が感じられているものと考えられる施設(川根支所)
  - ▶ 行政施策上の必要性が感じられているものと考えられる施設(保健福祉センターはなみずき)
- ◆次のいずれかに当てはまる施設は、「再編等をする」の割合が高くなる傾向にあると考えられる。
  - ▶ このアンケートにおいて、利用しない理由として「場所やどんな施設かを知らない」と答えた人が多い施設(山村都市交流センターささま、大津農村環境改善センター、伊久身農村環境改善センター、北部ふれあいセンター、初倉西部ふれあいセンター、かなや会館、コミュニティサロン金谷南、コミュニティサロン金谷北、ふれあい健康プラザ)
  - ▶ 整理再編について検討の必要性が感じられているものと考えられる施設(金谷南支所、金谷北支所、博物館分館)

- ◆近隣の施設に対しては「優先的に残す」の割合が高い。
  - ▶ 回答者が居住する地域内にある施設について、「優先的に残す」と回答する割合が高い。
  - ▶ 回答者が居住する地域に隣接する地域にある施設に対しても、「優先的に残す」と回答する割合が他の地域に比べてやや高くなる傾向にある。特に、川根地域にある施設に対し、金谷地域(五和)において「優先的に残す」と回答する割合が、川根地域と同様に高くなっている。
- ◆川根地域の施設は、利用状況にかかわらず「優先的に残す」の割合が高い。
  - ▶ 利用状況との相関関係について地域別にみると、川根地域の施設では、過去1年間で1回以上利用した人の割合が特に低い施設(1割未満)であっても、「優先的に残す」が「再編等をする」を上回っている場合が多い。
  - ▶ 川根地域以外の地域の施設では、過去1年間で1回以上利用した人の割合が特に低い施設で、「再編等をする」が「優先的に残す」を上回っている場合が多い。

島田市の公共施設に関する市民アンケート  
調査結果報告書（概要版）

平成28年3月

発行 / 島田市行政経営部財政課  
〒427-8501 島田市中心街1番の1  
電話 0547-36-7124 / FAX 0547-37-8200  
E-mail [zaisei@city.shimada.lg.jp](mailto:zaisei@city.shimada.lg.jp)